


屋内退避施設網小医院結露対策工事

令和 7 年 3 月

- 意匠
- 電気設備
- 機械設備

		<div><div>INA</div>株式会社 I N A 新建築研究所</div>	石 巻 市 建 設 部 建 築 課	工 事 名			屋内退避施設網小医院結露対策工事			備 考		図面番号 共-00
				図 面 名		表 紙		縮尺				
				設計年月日			令和 7 年 3 月					
		一般建築士事務所 宮城県知事登録 第 22210184 号										
		代表設計者 一般建築士 第 226907 号 高田 秀幸		設計者 一般建築士 第 269066 号 穴戸 孝輔								

[illegible][illegible][illegible]

		 株式会社 INA 新建築研究所	石 巻 市 建 設 部 建 築 課	工 事 名	屋内退避施設網小医院結露対策工事			備 考	図面番号 共-01
		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第 22210184 号		図 面 名	図面リスト	縮尺			
		代表設計者 一級建築士 第 226907 号 高田 秀幸 設計者 一級建築士 第 269066 号 穴戸 孝輔		設計年月日	令和7年3月				

6
内装
改修
工事

1. 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
・図示による

② 既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の除去
※仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示による 除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法
・機械的除去工法
・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。

3. 既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り
（全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による）

④ 施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (ウ) (b)による

⑤ 製材

・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材
施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理
木組み 図示 ※2級 ※A種 ・B種 ・ 防腐・防蟻処理
床下地 ※2級 ※A種 ・B種 ・
・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材
施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理
見え掛り面 ※上小節 ※A種 ・B種 ・
見え掛り面以外 ※小節以上 ※A種 ・B種 ・
・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材
施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理
※1等 ※10%以下 ・A種 ・B種 ・
※1等 ※10%以下 ・A種 ・B種 ・
・JAS 1083（製材）以外の製材
施工箇所 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 含水率
造作材の場合（※A種 ・B種） ・適用する ・適用しない ※A種 ・B種 ・
造作材の場合（※A種 ・B種） ・適用する ・適用しない ※A種 ・B種 ・
○「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面 見付け材面の品質
上り框 造作用集成材 タモ 100×100 タモ ※1等 ・2等
※1等 ・2等
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材
施工箇所 品名 材種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面 見付け材面の品質
化粧薄板：芯材： ※1等 ・2等
化粧薄板：芯材： ※1等 ・2等
・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
施工箇所 材種名 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率
※15%以下
※15%以下
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材
施工箇所 材種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 含水率
化粧薄板：芯材： ※15%以下
化粧薄板：芯材： ※15%以下

7. 造作用単板積層材

・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材
施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の品質 防虫処理
・適用する
・適用しない
・適用する
・適用しない
・JAS 0701 以外の造作用単板積層材
施工箇所 寸法 (mm) 表面の品質 含水率 防虫処理
※14%以下 ・適用する
※14%以下 ・適用する
・適用しない
・JAS 3079 に基づく直交集成板
施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能 (使用環境) 樹種名 寸法 (mm)
・「合板の日本農林規格」による普通合板
施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理
※5.5 ・ ※1類 ・2類 ・ 適用する
・適用しない
○「合板の日本農林規格」による構造用合板
施工箇所 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ (mm) 防虫処理 強度等級
院長室・職員休憩 ※2級以上 ※1類 ・特類 ※C-D以上 ・ ※12 ○15 ○適用する () 箇所
トッカー室 ・1級 ・適用しない
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板
施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理
・1類 ・特類 ・適用する
・適用しない
・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板
施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ (mm) 接着の程度 防虫処理
・1類 ・2類 ・適用する
・適用しない
・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板
施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理
・1類 ・2類 ・適用する
・適用しない
・パーティクルボード
施工箇所 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ (mm)
※I3タイプ ※P又はM ※15
・JAS 0360 に基づく構造用パネル
施工箇所 寸法 (mm)
・MDF
施工箇所 厚さ (mm) 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分
造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち
※釘頭埋め木
※つぶし頭釘打ち
※釘頭現し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
(改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度)
・ (形状： 寸法： 材質：)
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
○薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理
適用部材 保存処理性能区分
木組み床下地 ・K2 ・K3 ・K4
・K2 ・K3 ・K4

⑧ 合板等

9. 接合具等

⑩ 接着剤

⑪ 防腐・防蟻処理

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理
適用部材 処理の方法 薬剤の種類
※薬剤の製造所の仕様による ※JIS K 1571に適合又は同等品
・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部位 ()
・合板等の加圧注入処理の適用
適用部位 ()
12. 内部間仕切軸組及び床組み
・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松
・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松
13. 窓、出入口その他
・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※円弁杵、水掛りの下杵及び敷居はひのき、その他は松又は杉
14. 軽量鉄骨天井下地
野縁等の種類
屋外 ※25形 ・19形
屋内 ※19形 ・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びビンサートの間隔
・図示による
周辺部の端からの間隔
・図示による
野縁の間隔
・図示による
既存の埋込みインサート
・使用する
・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 () 箇所
引張試験にて確認する強度
※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400N程度 () N
※行わない
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合 (補強方法 ※図示による)
・天井のふところ高が3.0mを超える場合 (補強方法 ※図示による)
・天井下地材における耐震性を考慮した補強 (補強箇所 ※図示による) (補強方法 ※図示による)
15. 軽量鉄骨壁下地
スタッド、ランナーの種類 (6.7.3.4)×表6.7.1)
※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※図示による
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※改修標準仕様書6.7.4(5)による

⑫ ビニル床シート

⑬ ビニル床タイル

18. 特殊機能床材

・帯電防止床シート
種類 ()
性能 ()
厚さ (mm) ()
・帯電防止床タイル
種類 ()
性能 ()
寸法 (mm) () × ()
厚さ (mm) ()
・視覚障害者用床タイル
ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
種類 ()
形状 ()
・耐動荷重性床シート
種類 ()
厚さ (mm) ()

⑬ ビニル幅木

20. ゴム床タイル

21. カーベット敷き

22. 合成樹脂塗床

・防滑性床シート
種類 ()
厚さ (mm) ()
・防滑性床タイル
種類 ()
寸法 (mm) () × ()
厚さ (mm) ()
材質の種類
※軟質 ・硬質
高さ (mm) ※60 ・75 ・100
厚さ (mm) ※1.5以上
種類
・単層品 ・積層品
色柄 ()
厚さ (mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法 (mm) () × ()
・織じゅうたん
織り方 バイル形状 備考
・ウィルトンカーベット ・カットバイル
・ダブルフェースカーベット ・ループバイル
・アキスミンスターカーベット ・カット/ループバイル
色柄
※模様のない無地
バイル糸の繊維種等
※無地の織りじゅうたんの種別 (・A種 ・B種 ・C種)
帯電性
・適用する ・適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンド工法
・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種1号 呼び厚さ 8mm
・タフテッドカーベット
バイル形状 バイル長さ (mm) 工法 帯電性 備考
・カットバイル ・5～7 ・※全面接着工法 ・適用
・ループバイル ・4～6 ・ ・グリップ工法 ・非適用
・カット、ループ併用
下敷き材(グリップ工法の場合)
※反毛フェルト (JIS L 3204) の第212号 呼び厚さ 8mm
タフテッドカーベット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・タイルカーベット
バイルの形状 種類 施工箇所 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 備考
※ループバイル ※第一種 ・第二種 ※500×500 ※6.5
・カットバイル ・第一種 ・第二種 ※500×500 ※6.5
・カット・ループ併用 ・第一種 ・第二種 ※500×500 ※6.5
タイルカーベット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
タイルカーベットの敷き方
平場
※市松敷き
・模様流し
階段部分
※模様流し
・市松敷き
見切り、押え金物
材質 ()
種類 ()
形状等
※図示による
・厚膜型塗床材
弾性ルタン樹脂系塗床 ※平滑仕上げ
・平滑仕上げ
・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材
1* 杉樹脂系塗床 ・薄膜流しのべ工法 ・平滑仕上げ
・厚膜流しのべ工法 ・防汚仕上げ
・樹脂処理工法
・薄膜型塗床材 ※平滑仕上げ
塗床材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

株式会社 I N A 新建築研究所

一般建築士事務所 宮城県知事登録 第 22210184 号

代表 設計者 一般建築士 第 226907 号 高田 秀幸 設計者 一般建築士 第 269066 号 穴戸 孝輔

石 巻 市 建 設 部 建 築 課

工 事 名 屋内退避施設網小医院結露対策工事

図 面 名 建築改修工事特記仕様書 (2) 縮尺 S=1/1

設計年月日 令和7年3月

備 考

図面番号 A-02

[illegible]

9環境配慮改修工事

1. 石綿含有建材の除去工事

施工調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無を調査する。
調査範囲（ ）
貸与資料（ ）

・石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)
・測定 1	処理作業前		処理作業室内	・計 点
・測定 2			調査対象室外部の付近	・計 点
・測定 3			処理作業室内	・計 点
・測定 4			セキュリティゾーン入口	・計 点
・測定 5	処理作業中		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/s以下の位置 ・計 点
・測定 6			処理作業室内 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点
・測定 7	処理作業後 (シート養生中)		処理作業室内	・計 点
・測定 8	処理作業後		処理作業室内	・計 点
・測定 9	(シート撤去後 1週間以降)		調査対象室外部の付近	・計 点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定 4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定
・測定 5	

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ 直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)
・測定 4	25	5	30
・測定 5			
・測定	47	10	120
・測定	47	10	240
・測定			
・測定			
・測定			

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹き付け材の除去
除去対象範囲
・図示による
除去工法
※改修標準仕様書9.1.3 (2) (7)による
除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置
※湿潤化 ・ 固化
除去した石綿含有吹き付け材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有保温材等(石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む)の除去
除去対象範囲
・図示による
除去工法
・破碎して除去 ・ 手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※湿潤化 ・ 固化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種)の除去
除去対象範囲
・図示による
隔離養生(負圧不要)方法
・図示による
足場
・図示による
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
・埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外)の除去
除去対象範囲
・図示による
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分(管理型最終処分場)
・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
・埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

2. 断熱777防水改修工事

3. 外断熱改修工事

④ 断熱・防露改修工事

・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去
除去対象範囲
・図示による
除去工法
養生方法
除去した石綿含有仕上塗材の処分
・埋立処分(安定型最終処分場)
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

石綿含有建材除去後の仕上げ工事
・図示による

改修特記仕様書3章による。

断熱材
断熱材の種類
断熱材の厚さ(mm)
施工箇所
・図示による
ホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
外装材

種類	防火性能	備考
・		

鋼材
改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・ 鋼材による
笠木
改修特記仕様書第3章 ・ アルミニウム製笠木による
既存外壁の処置
既存外壁仕上材の撤去
・行う ・ 行わない
下地面の清掃
・行う ・ 行わない
欠損部の改修工法
・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による
不陸等の下地調整
断熱材の施工
・断熱材製造所の仕様による
外装材の施工
・外装材製造所の仕様による
通気層の有無
・有 (mm) ・ 無
外装材の外壁への取付け
・図示による
笠木の施工
・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
工法
・断熱材打込み工法
断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
種類
厚さ(mm)
施工場所
○断熱材現場発泡工法
断熱材の種類
○A種1 ・ A種1H
吹付け厚さ (mm)
・ 25 ・ 30
施工箇所
○図示による
・断熱材後張り工法
断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
種類
厚さ(mm)
・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル
材質
厚さ (mm)
・張り付け工法
断熱材の張り付け工法
断熱材へのボードの張付け工法

5. 屋上緑化改修工事

6. 透水性777舗装改修工事

植栽基盤及び材料
・屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の種類等
※図示による
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等
※図示による
かん水装置
・設置する(種類)
既存保護層の撤去
・行う ・ 行わない
新植した芝及び地被類の枯補償の期間
※引渡しの日から1年
適用範囲：歩道
既存舗装の撤去及び再利用
※図示による
路床

路床の材料	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示による
・凍上抑制層	※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂	・図示による
・フィルター層	※砂	・図示による

(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)
・行う ※行わない
・路床安定処理
・適用する ・ 適用しない
安定処理の方法
・置き換え工法
・安定処理工法
路床安定処理用添加材料
種類
※普通ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・生石灰 (・特号 ・1号)
・消石灰 (・特号 ・1号)
添加量
・ kg/m3 (目標CBR ・3以上
目標CBRを満足する添加量の確認方法
・安定処理土のCBR試験
・ジオテキスタイル
単位面積質量
・60g/m²以上
厚さ(mm)
・0.5~1.0
引張強さ
・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上
透水系数
・1.5×10⁻¹ cm/sec以上
試験
路床土の支持力比 (CBR) 試験
・行う ※行わない
路床締固め度の試験
※行う ・ 行わない
現場CBR試験
・行う ・ 行わない
路盤
路盤の厚さ
・図示による
路盤材料(改修標準仕様書表9.7.3による種別)
・クラッシュラン
・粒度調整砕石
※再生クラッシュラン
・再生粒度調整砕石
・クラッシュラン鉄鋼スラグ
・粒度調整鉄鋼スラグ
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ
舗装の構成
※図示による
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
・行う ※行わない
舗装の平たん性
※著しい不陸がないもの

1. フリーアクセスフロア

2. 可動間仕切

3. 移動間仕切

4. トイレブース

5. 手すり

(20.2.2)
施工箇所 構法 寸法 (mm) 高さ (mm) 耐震性能 所定荷重 表面仕上材
・置敷式
・支柱
調整式
・500×500
・1.0G
・0.6G
・3,000N
・5,000N
・帯電防止床材
・タイル・ベタ
寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)~(c)による
・以下による
パネルの長さの寸法精度
(
パネルの平面形状(角度)の寸法精度
(
フリーアクセスフロアの高さの寸法精度
(
帯電防止性能
・評価値 (U) ≥0.6以上
・評価値 (U) ≥1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗 (R) ≥1×10⁶ Ω
(20.2.3)
構造形式による種類 構成基材の種類 スタッド パネル パネル表面仕上げ 遮音性 (dB/500Hz) 防火性能
・スタッド式(内蔵)
・スタッド式(露出)
・スタッドパネル式
・パネル式
・マシン樹脂焼付又は
アクリル樹脂焼付
・壁紙張り
・0
・12
・20
・28
・36
パネル内に取付ける建具
・有り(※図示による
無し
パネル内に取付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
パネル材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
(20.2.4)
走行方向 操作方式による種類 パネル圧接装置の操作方法 総厚さ (mm) パネル表面材質 遮音性 (dB/500Hz)
・平行方向
移動式
・二方向
移動式
・手動式
・電動式
・部分電動式
・フッシュ式
・ハンドル式
・焼付塗装
・壁紙張り
・36未満
※36以上
パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
・図示による
パネルをランナーに取り付ける部品
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
ハンガーレール及びランナー
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの
(20.2.5)
表面材の材料 脚部 種類 ドアエッジ 材質
・メラミン樹脂系化粧板
・ポリエステル樹脂系化粧板
※幅木タイプ
※製造所の仕様による
・アルミニウム製
・ステンレス製
(20.2.6)
材料の種類及び仕上げ
・SUS304 表面処理 ※HL程度
・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき
(※標準仕様書表14.2.2による種別 () 種)
・アルミニウム 表面処理
(※標準仕様書表14.2.1による種別 () 種)
色合い ・ 標準色 () ・ 特注色 ()
手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材 (材種:)	・クリアラッカー	・35程度 ・45程度		
・ビニル製		・35程度 ・45程度		

石巻市建設部建築課

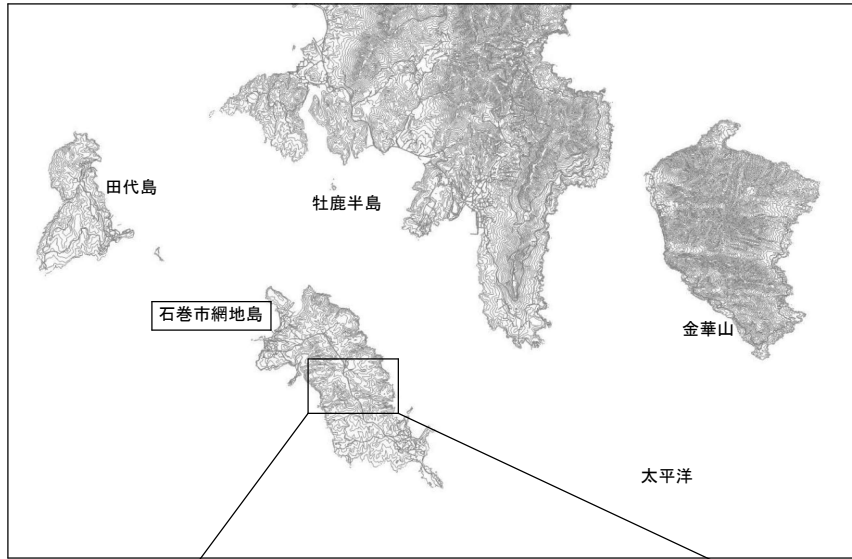
工 事 名 屋内退避施設網小医院結露対策工事
図 面 名 建築改修工事特記仕様書(4) 縮尺 S=1/1
設計年月日 令和7年3月

備 考

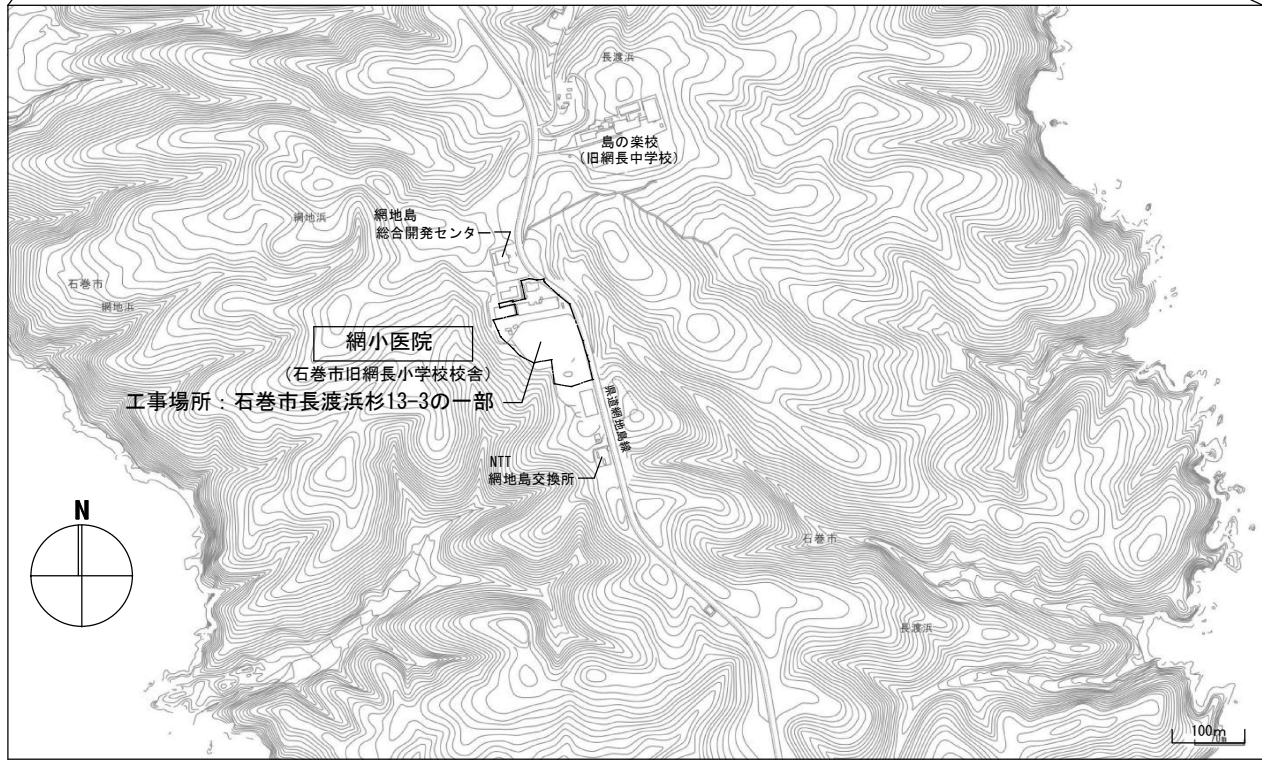
図面番号 A-04

ユニット及びその他の工事	6. 階段滑り止め	材種 ※ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材 ・ 形状 ※タイヤ型(タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂合等) ・タイヤレス型 寸法(幅) ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度 取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法	(20. 2. 7)	15. カーテンレール	材料による区分 アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ※ステンレス製 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形	(20. 2. 16)	27. 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・	各工事の区分表	工 事 項 目				建築電気衛生空調昇降外構				備 考			
	7. 黒板及びホワイトボード	・黒板 区分 ※焼き付け 種類 ※鋼製黒板 ・ほうろう黒板 ・ 色 ※緑 ・ホワイトボード	(20. 2. 9)	16. ブラインドボックス及びカーテンボックス	材種 ・集成材（仕上げ： ） ※アルミニウム製 押出し型材（市販品） 標準仕様書表14. 2. 1による種別 ※BC-1種 ・BC-2種 ・ 色合い ・標準色（ ） ・特注色（ ） ・鋼製（仕上げ： ）	材種 ※アルミニウム製 ※450×450 ・600×600 ・ 寸法 形式 ・一般形 ・屋内外用 ・屋内用 ・気密形 外枠 ・額縁タイプ ※目地タイプ 内枠 ・額縁タイプ ※目地タイプ	30. 屋外掲示板	照明器具 ・有り ・無し 施錠 ・有り ・無し 製造所 ・ 合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ 材質、形状、寸法 ※図示による ・ 参考商品 YM1545-SM（宇佐美工業（株）防虫網付）同等		床、壁、天井点検口（下地補強共）	○						設備盤用扉は各設備工事				
	8. 鏡	取付け箇所（ ） 寸法 (mm) ・図示による ・ 厚さ (mm) ※5	(20. 2. 10)	17. 天井点検口	材種 ※アルミニウム製 ・450×450 ・600×600 ・ 寸法 形式 ・一般形 ・密閉形 ・密閉形 備考 ・鍵付き ○屋内用	31. 収納家具	※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8 ・ ※500 ・		アルミ製枠付き	換気扇及び取付枠への取付, 配線	※	○			※配線は電気					
	9. 表示	衝突防止表示 ・設置する（設置場所：※図示による ・ ） 形状・寸法（・30φ ・ ） 材質（※ステンレス製 ・ ） ・設置しない 誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 (案内用図記号はJIS Z 8210による) ※図示による	(20. 2. 11)	18. 床点検口	材種 ※アルミニウム製 ・450×450 ・600×600 ・ 寸法 形式 ・一般形 ・密閉形 ・密閉形 備考 ・鍵付き ○屋内用	31. 収納家具	・可動式	・垂直降下式（巻取り型）		※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800 ・ ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）	換気扇取付枠及び躯体への取付			○						
	10. タラップ	材質及び仕上げ ・SUS304（スリップ止め加工 ※あり ・なし ） ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14. 2. 2による種別（※C種 ・ 種）)	(20. 2. 12)	19. くつふきマット	材種 ※塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼 (SUS304) 製 ・	受け枠 ※ステンレス鋼 (SUS304) ・硬質アルミニウム合金 ・	31. 収納家具	・可動式		・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800 ・ ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）									
	11. 煙突ライニング	適用安全使用温度 工法 ※鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材) ・	(20. 2. 13)	20. 流し台ユニット	材種 寸法 (mm) W D H ・流し台 ・1200 ・1500 ・1800 ・550 ・600 ・650 ・800 市販品 トラップ付き 天板ステンレス製	備考	31. 収納家具	・可動式		・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800 ・ ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）									
	12. ブラインド	縦型ブラインドのスラットの材質 ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工	(20. 2. 14)	21. 旗竿	材種 ※アルミニウム合金製 ・ 形式 ※テーパー式 ・同一断面式 高さ(m) 操作方法 ※ハンドル式 ・ロープ式 固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ・バンド式 備考	22. 旗竿受金物	材種 ・ステンレス製 (SUS 304) ・	31. 収納家具		・可動式	・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800 ・ ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）								
	13. ロールスクリーン	スクリーンの仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの	(20. 2. 15)	22. 旗竿受金物	材種 ・ステンレス製 (SUS 304) ・	23. 車止めさく	形式 材種 柱径、肉厚(mm) 高さ(mm)	31. 収納家具		・可動式	・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800 ・ ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）								
	14. カーテン	スクリーンの仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの	(20. 2. 16)	24. フェンス	フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ・図示による ・	25. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み	材種 種類 質量区分 備考	31. 収納家具		・可動式	・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800 ・ ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）								
				26. 鋼製書架及び物品棚	種類 規格等 JISによる種類			31. 収納家具		・可動式	・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800 ・ ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）								

		株式会社 I N A 新建築研究所	石 巻 市 建 設 部 建 築 課				工 事 名	屋内退避施設網小医院結露対策工事				備考	図面番号	
		一般建築士事務所 宮城県知事登録 第 22210184 号					図 面 名	建築改修工事特記仕様書(5)、工事区分表		縮尺	S=1/1			
		代表設計者 一般建築士 第 226907 号 高田 秀幸 設計者 一般建築士 第 269066 号 穴戸 孝輔					設計年月日	令和7年3月						

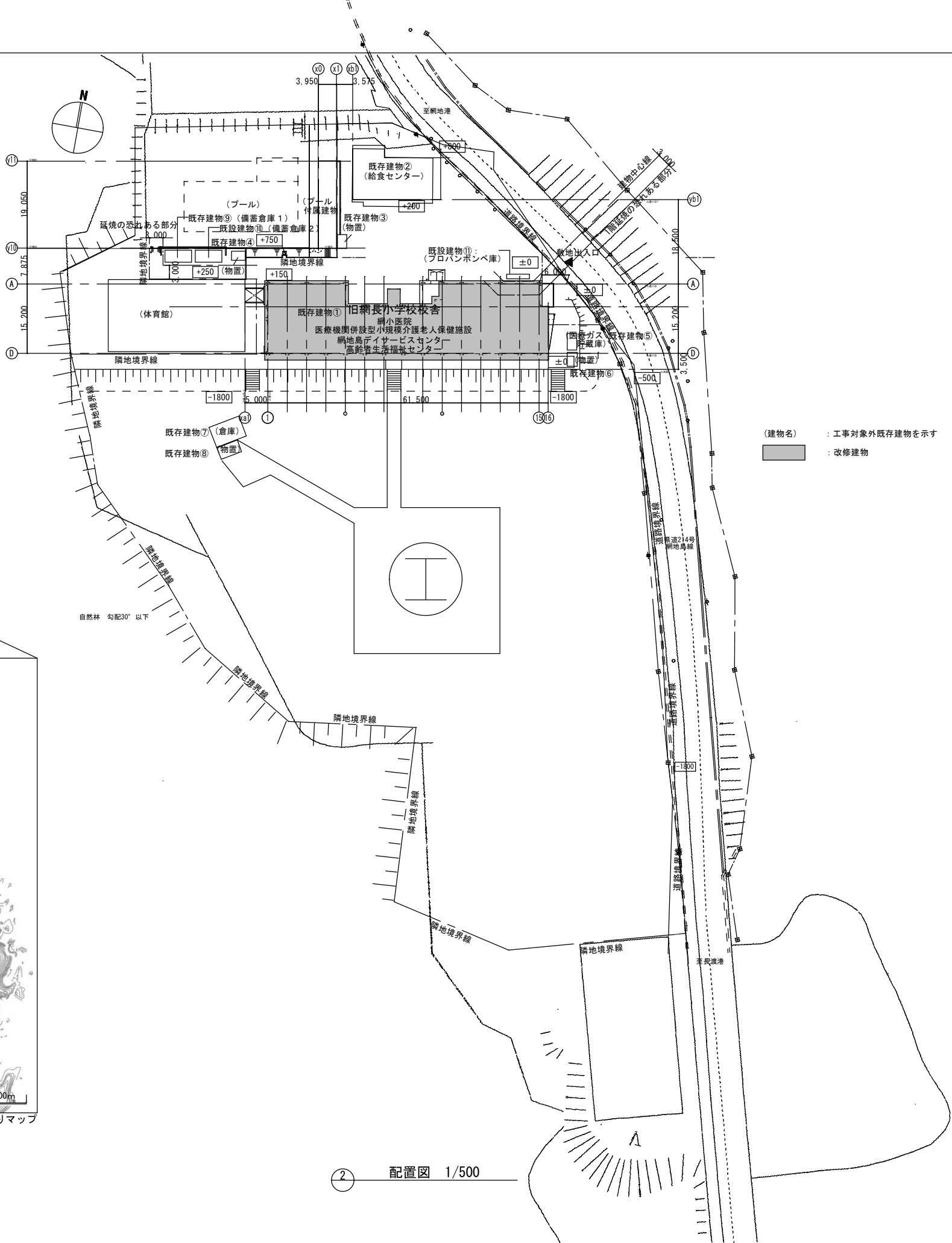


出典：石巻まちづくりマップ



出典：石巻まちづくりマップ

① 案内図 1/5,000



② 配置図 1/500

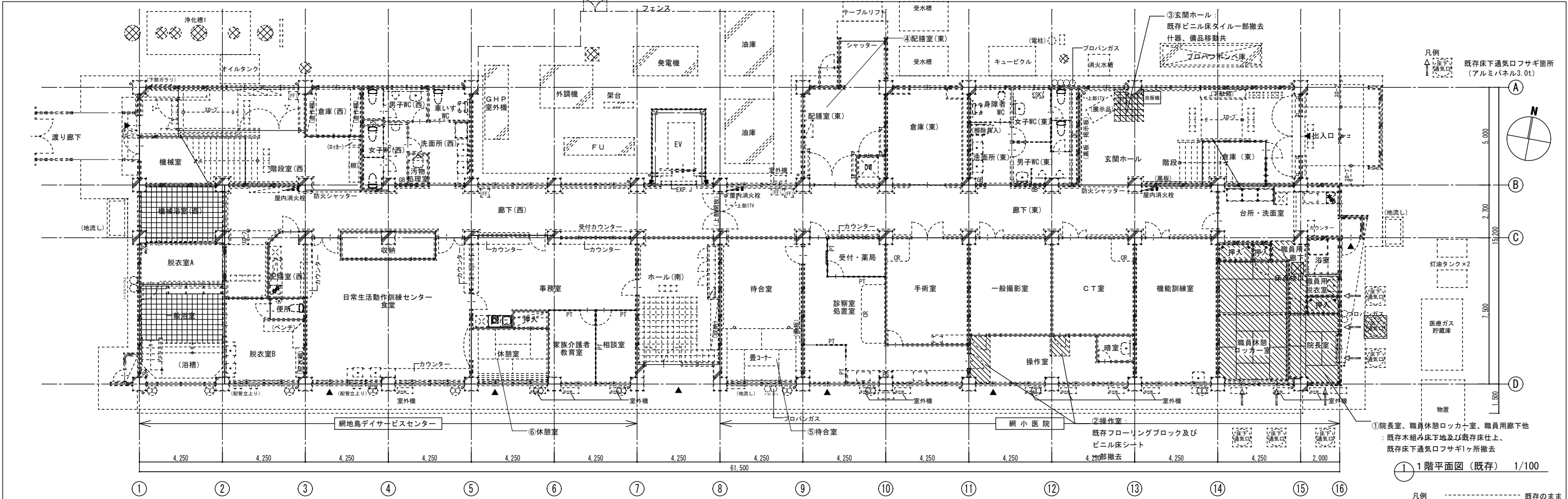
		<div><div><div>株式会社INA 新建築研究所</div><div>一級建築士事務所 宮城県知事登録 第 22210184 号</div><div>代表設計者 一級建築士 第 226907 号 高田 秀幸 設計者 一級建築士 第 269066 号 犬戸 孝輔</div></div></div>	石巻市建設部建築課	工 事 名	屋内退避施設網小医院結露対策工事			備考	図面番号	
				図 面 名	案内図・配置図	縮尺	A1:S=1/500 A3:S=1/1000			A-06
				設計年月日	令和7年3月					

既存外部仕上						改修前・後 外部仕上						〈共通〉 網掛けのない表中の赤字文字は改修工事内容を示す。		その他仕様			
種 別・部 位		仕 様		種 別・部 位		仕 様		種 別・部 位		仕 様		改修 内容		種 別・部 位		仕 様	
外 部 装 飾 材 等	一般部	吹付タイル	その 他 装 飾 材 等	床下通気口フサギ	アルミパネル3.0t 6ヶ所	外 部 装 飾 材 等	U形側溝	U250、蓋：コンクリート、グレーチング T-2	外 部 装 飾 材 等	床下通気口フサギ (改修前)	アルミパネル3.0t 1ヶ所撤去	機 室	職員休憩ロッカー室、院長室、 職員用脱衣室、職員用廊下 床下	砂利地業：再生クラッシュラン450 t			
	東面	磁器質タイル45×45		機械基礎置場	SUS製マシナラン2000H、扉2000H、南京錠付		他5ヶ所は存置	F									
	エレベーターシャフト	押出成型セメント板横張り		備蓄倉庫	物置（プレハブ既製品）2基、基礎共		床下通気口フサギ 1ヶ所新設	a									
	配膳室	サイディング縦張り		玄関ホール庇	吹付タイル		他5ヶ所は存置	f									
	玄関ホール正面	カラーアルミバンチングメタル		バルコニー、パラベット庇	色セメント												
	腰壁	モルタル金ゴテ仕上		丸壁	カラーアルミミ300φ3.0t SUSポルト留												
	窓、扉	アルミ製		時計	壁掛式												
	自動ドア	アルミ製		看板	SUS-HL600W×1800H 10t、文字：ホワイトシート												
	軽量シャッター、点検扉	スチール製		シンボルマーク	カラーアルミ板4t、800W×800H												
	配膳室屋根	金属屋根根立平葺		退避施設入口外部	屏説明サイン												
笠木	アルミ製	外部	外部誘導サイン（自立型）（カラー付共、貼付型）														
手摺	SUS-HL FB-50×10、40×8、40×6	アスファルト舗装	密粒度As A-5-15														
樋	V P塗装、S U S	コンクリート舗装	歩道用 C-70-10														

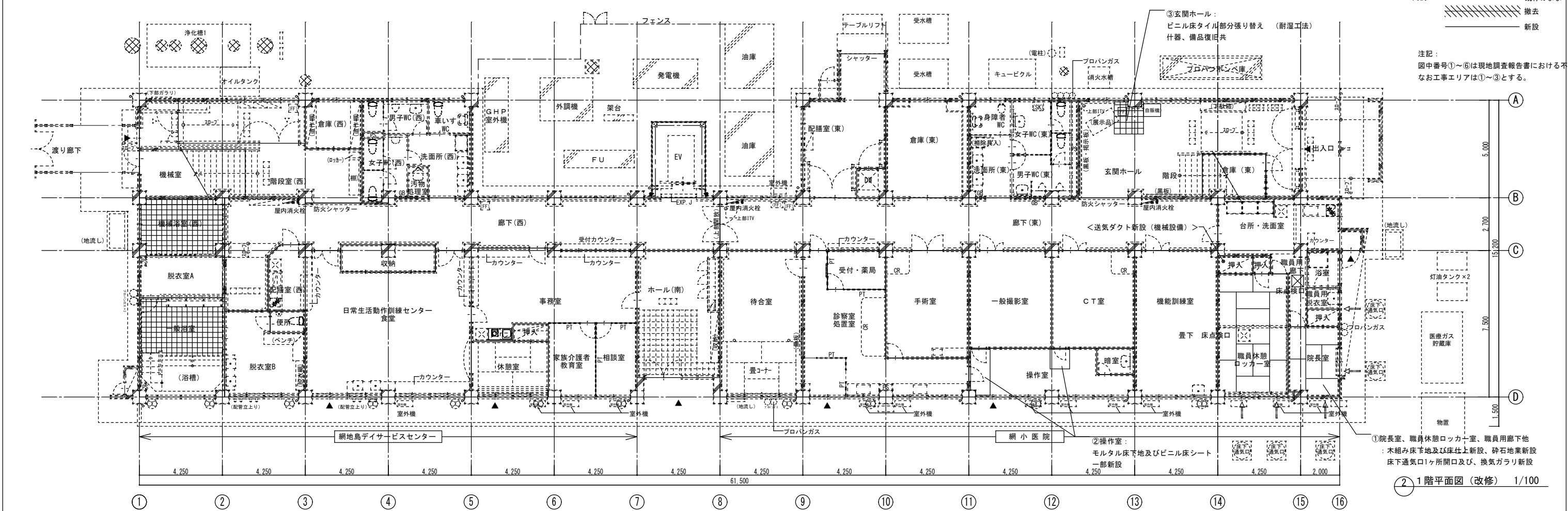
既存内部仕上										改修前・後 内部仕上																																	
室名に振られた番号は、現地調査報告書に基づく不具合発生箇所を示す。										室名に振られた番号は、現地調査報告書に基づく不具合発生箇所を示す。																																	
室名	下地床	下地巾木	高さ	下地壁	下地天井	廻縁	天井高	備考		室名	下地床	改修内容	下地巾木	高さ	改修内容	下地壁	改修内容	下地天井	廻縁	改修内容	天井高	備考（今回工事）																					
① 職員休憩 ロッカー室	W 畳 木組み床下地	B 畳寄せ B 雑巾摺り		C V P 木部OSCL	W,S GB-NC9.5t、ビニルクロス (竿縁天井下地) W GB-R9.5t（押入）		2,600	天井点検口 押入床：公団型通気孔金物		① 職員休憩 ロッカー室 (改修前)	W 畳 撤去 木組み床下地 撤去 東石 取外し	A,C B 畳寄せ 撤去 B 雑巾摺り 撤去	A	C V P 木部OSCL	F W,S GB-NC9.5t、ビニルクロス (竿縁天井下地) F W GB-R9.5t（押入）	F	2,600		F		押入床：公団型通気孔金物 撤去																						
① 院長室	W 畳 木組み床下地	B 畳寄せ B 雑巾摺り		C V P 木部OSCL	W,S GB-NC9.5t、ビニルクロス (竿縁天井下地) W GB-R9.5t（押入）		2,600	天井点検口 押入床：公団型通気孔金物		① 院長室 (改修前)	W 畳 撤去 木組み床下地 撤去 東石 取外し	A,C B 畳寄せ 撤去 B 雑巾摺り 撤去	A	C V P 木部OSCL	F W,S GB-NC9.5t、ビニルクロス (竿縁天井下地) F W GB-R9.5t（押入）	F	2,600		F		押入床：送気ダクト新設（機械設備） 押入床：公団型通気孔金物 撤去																						
① 職員用脱衣室	W ビニル床タイル 木組み床下地	B 木OSCL	100	C 磁器質タイル75角 プリント合板5.0t	S バスリブ		2,500			① 職員用脱衣室 (改修前)	W ビニル床タイル 撤去 木組み床下地 撤去 東石 取外し	A,C B 木OSCL 撤去	100 A	C 磁器質タイル75角 プリント合板5.0t	F S	バスリブ	F	2,500		F																							
① 職員用廊下	W ビニル床タイル 木組み床下地	B 木OSCL	100	C V P プリント合板5.0t	S GB-R9.5t EP		2,500	天井点検口 床点検口		① 職員用廊下 (改修前)	W ビニル床タイル 撤去 木組み床下地 撤去 東石 取外し	A,C B 木OSCL 撤去	100 A	C V P プリント合板5.0t	F S	GB-R9.5t EP	F	2,500		F		床点検口 取外し 上がり框 撤去																					
② 操作室	C フローリングブロックt15 の上、FS2.3t	C 木OP 一部ソフト巾木	100 100	C V P 一部GB-R12.5tの上EP	S 有孔GB-R9.5t EP S GB-R9.5t EP 下り壁とも		3,050 一部 2,500	カーテンレール カーテン 天井点検口		② 操作室 (改修前)	C フローリングブロックt15 一部撤去 FS2.3t 一部撤去	B C 木OP 一部ソフト巾木	100 F 100 F	C V P 一部GB-R12.5tの上EP	F S	有孔GB-R9.5t EP GB-R9.5t EP 下り壁とも	F	3,050 一部 2,500		F		床点検口 再取付け 上がり框 新設 タモ集成材UC 砕石地業、目つぶし砂、防湿フィルム、 調湿材																					
③ 玄関ホール 階段室(東)	C FT2.5t（ホール） HS2.5t（ノズリッ：ｽﾎｰﾌﾞ） FT3.0t（踏込）	C 木OP 人研	100 200	M EP B EP S GB-R9.5t+12.5t、EP M ビニルクロス（一部柱型）	M EP S GB-NC9.5t (910×910) S GB-R9.5t EP		2,300 3,200	外部サイン 天井点検口 傘たて		③ 玄関ホール 階段室(東) (改修前)	C FT2.5t一部撤去（ホール） HS2.5t（ノズリッ：ｽﾎｰﾌﾞ） FT3.0t（踏込）	B C 木OP 人研	100 F 200 F	M EP B EP S GB-R9.5t+12.5t、EP M ビニルクロス（一部柱型）	F M EP F S GB-NC9.5t (910×910) F S GB-R9.5t EP	F	2,300 3,200		F																								
④ 配膳室（東）	C FT-2.0t	C 木OP	100	C EP 一部GB-R12.5tの上EP ビニルクロス S GB-R9.5t+12.5t EP	W,S 有孔GB-R9.5t EP		2,800	スチール棚		④ 配膳室（東）	C FT-2.0t	F C 木OP	100 F	C EP 一部GB-R12.5tの上EP ビニルクロス S GB-R9.5t+12.5t EP	F W,S 有孔GB-R9.5t EP F	F	2,800		F																								
⑤ 待合室	C フローリングブロック OA 畳 乾式二重床下地	C 木OP	100	C ビニルクロス	W,S 吸音テックス EP S GB-R9.5t EP		2,800	カーテンレール カーテン 天井点検口		⑤ 待合室	C フローリングブロック OA 畳 乾式二重床下地	F C 木OP	100 F	C ビニルクロス	F W,S 吸音テックス EP S GB-R9.5t EP	F	2,800		F																								
⑥ 休憩室	OA 畳 乾式二重床下地 縁甲板 100w			C B ビニルクロス GB-NC	S GB-D9.5t		2,400	カーテンレール カーテン 天井点検口		⑥ 休憩室	OA 畳 乾式二重床下地 縁甲板 100w	F F F		C B ビニルクロス GB-NC	F F	S GB-D9.5t	F	2,400		F																							

階 別	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	材 種	RC	鉄筋コンクリート	GB-R	せっこうボード	HS	ビニル床シート 発泡層のあるもの	下地区分の略号				改修内容凡例									
	VP	塩化ビニル樹脂エナメル（廃止）				GB-NC	化粧せっこうボード （トラバーチン模様）	FS	ビニル床シート 発泡層のないもの	C：コンクリート下地（壁・ボード仕上げの場合、G L 工法）				環 境	A：仕上げ撤去		F：既存のまま		保 護	a：仕上げ新設		f：既存のまま	
	OP	油性調合ペイント		LGS	軽量鉄骨	GB-D	化粧せっこうボード （木目模様）	KT	ビニル床タイル（コンポジション）	S：軽量鉄骨下地 B：ボード下地					B：一部（図示）仕上げ撤去		G：取外し保管			b：一部（図示）仕上げ新設		g：再取付	
	OSCL	オイルステン クリア		W	木	GB-S	シージングせっこうボード	FT	ビニル床タイル（ホモジニアス）	W：木下地					C：下地とも撤去					c：下地とも新設			
						DR	ロックウール化粧吸音板	GM-B	グラスウール吸音ボード	M：モルタル下地					D：一部（図示）下地とも撤去					d：一部（図示）下地とも新設			
										O A：フリーアクセスフロア					E：下地の調整					e：塗装の塗替え			


			株式会社 I N A 新建築研究所	石 巻 市 建 設 部 建 築 課	工 事 名				屋内退避施設網小医院結露対策工事		備考	図面番号
					図 面 名		仕上表		縮尺	S=1/—		
					設計年月日		令和7年3月					
		一般建築士事務所 宮城県知事登録 第 22210184 号										A-07
		代表設計者 一般建築士 第 226907 号 高田 秀幸		設計者 一般建築士 第 269066 号 穴戸 孝輔								

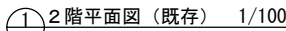


① 1階平面図 (既存) 1/100



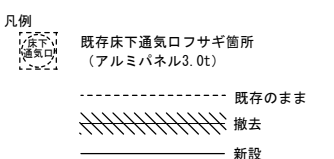
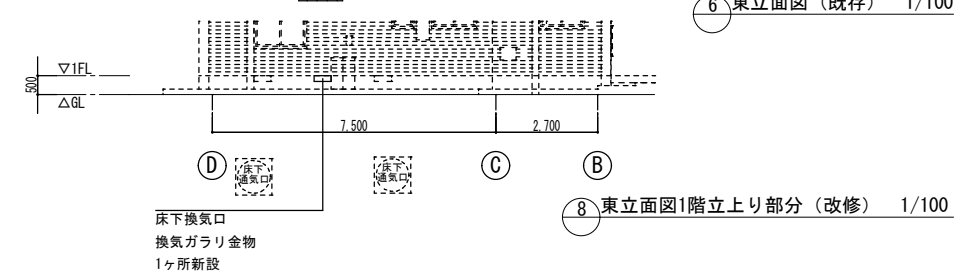
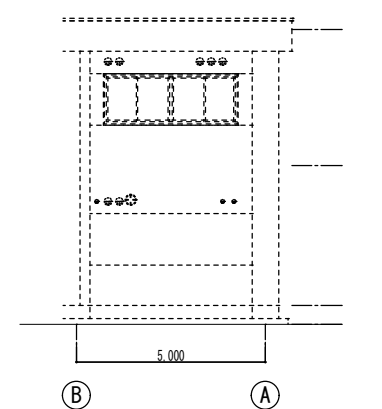
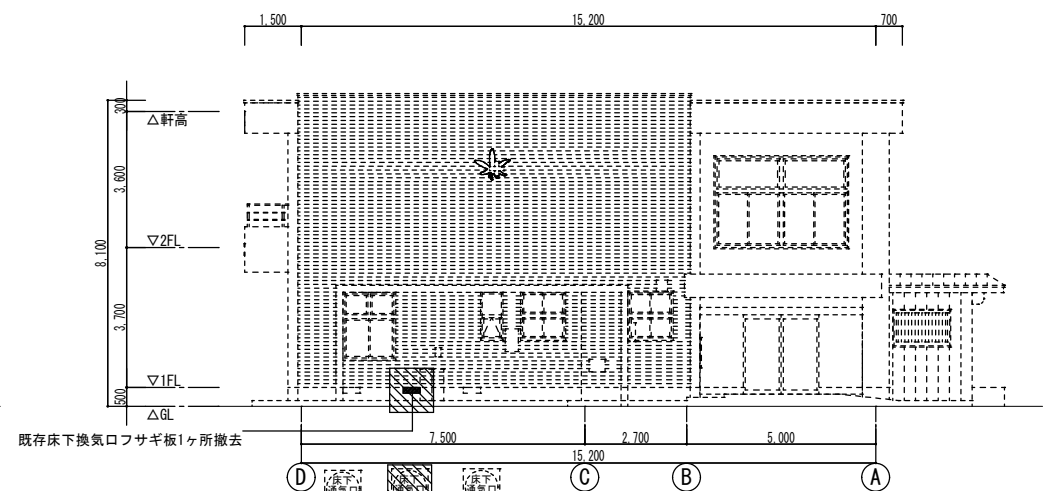
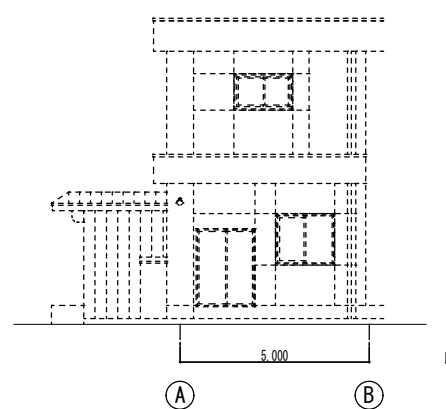
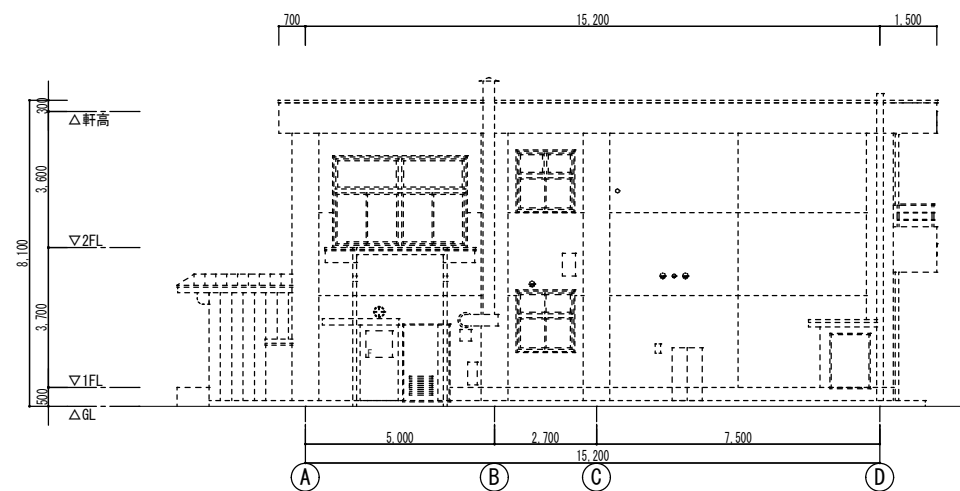
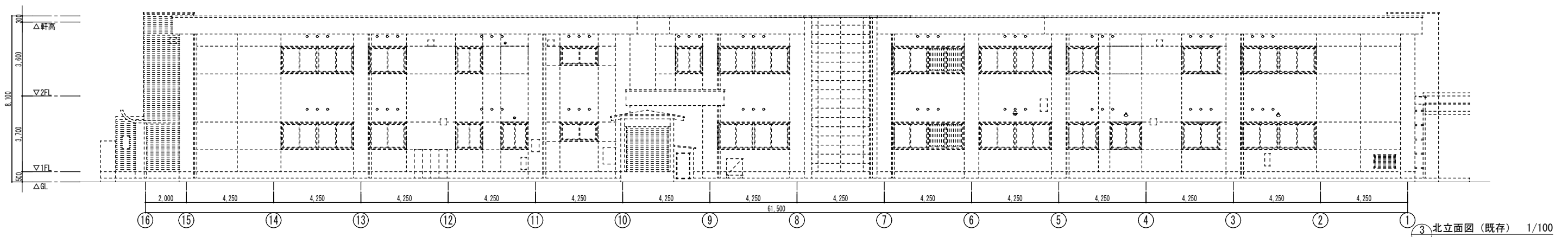
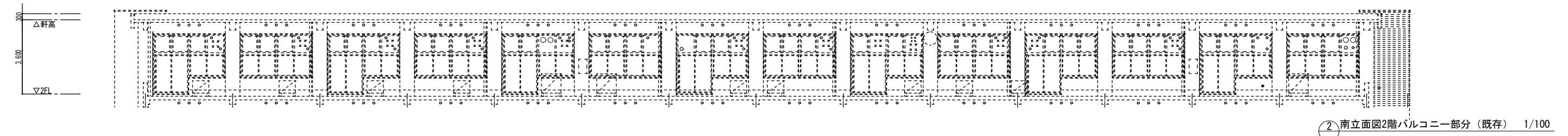
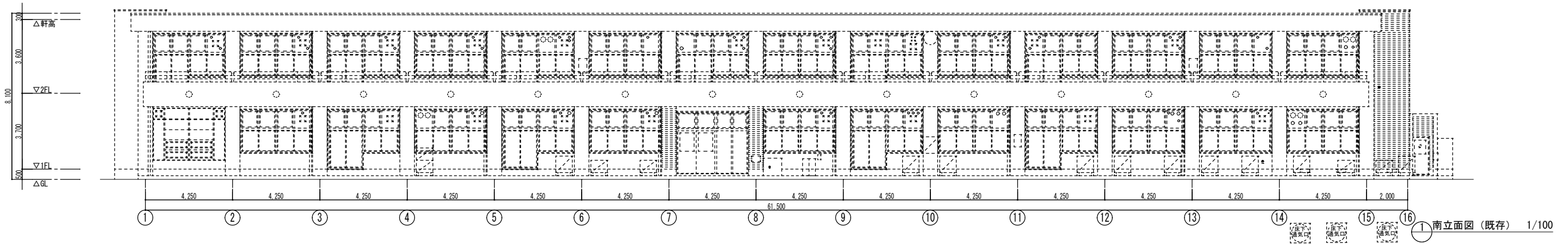
② 1階平面図 (改修) 1/100


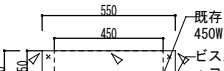
		 株式会社 I N A 新建築研究所	石 巻 市 建 設 部 建 築 課	工 事 名 屋内退避施設網小医院結露対策工事			備考	図面番号 A-08
		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第 22210184 号		図 面 名 1階平面図〔既存、改修〕		縮尺 A1:S=1/100 A3:S=1/200		
		代表設計者 一級建築士 第 226907 号 高田 秀幸 設計者 一級建築士 第 269066 号 内戸 孝輔		設計年月日 令和 7 年 3 月				




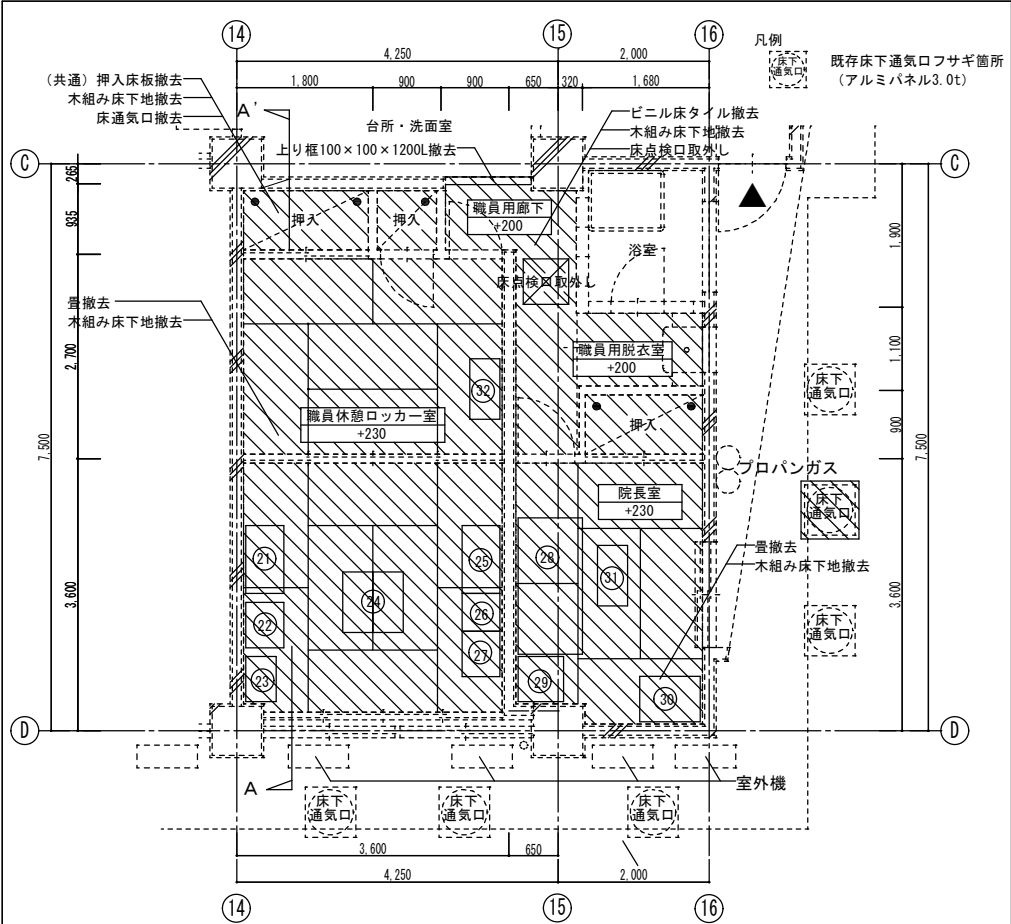
参考図

		 株式会社 I N A 新建築研究所	石 巻 市 建 設 部 建 築 課	工 事 名	屋内退避施設網小医院結露対策工事			備 考	図面番号 A-09
		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第 22210184 号		図 面 名	2階平面図〔既存（参考図）〕	縮尺	A1:S=1/100 A3:S=1/200		
		代表設計者 一級建築士 第 226907 号 高田 秀幸 設計者 一級建築士 第 269066 号 矢戸 孝輔		設計年月日	令和 7 年 3 月				

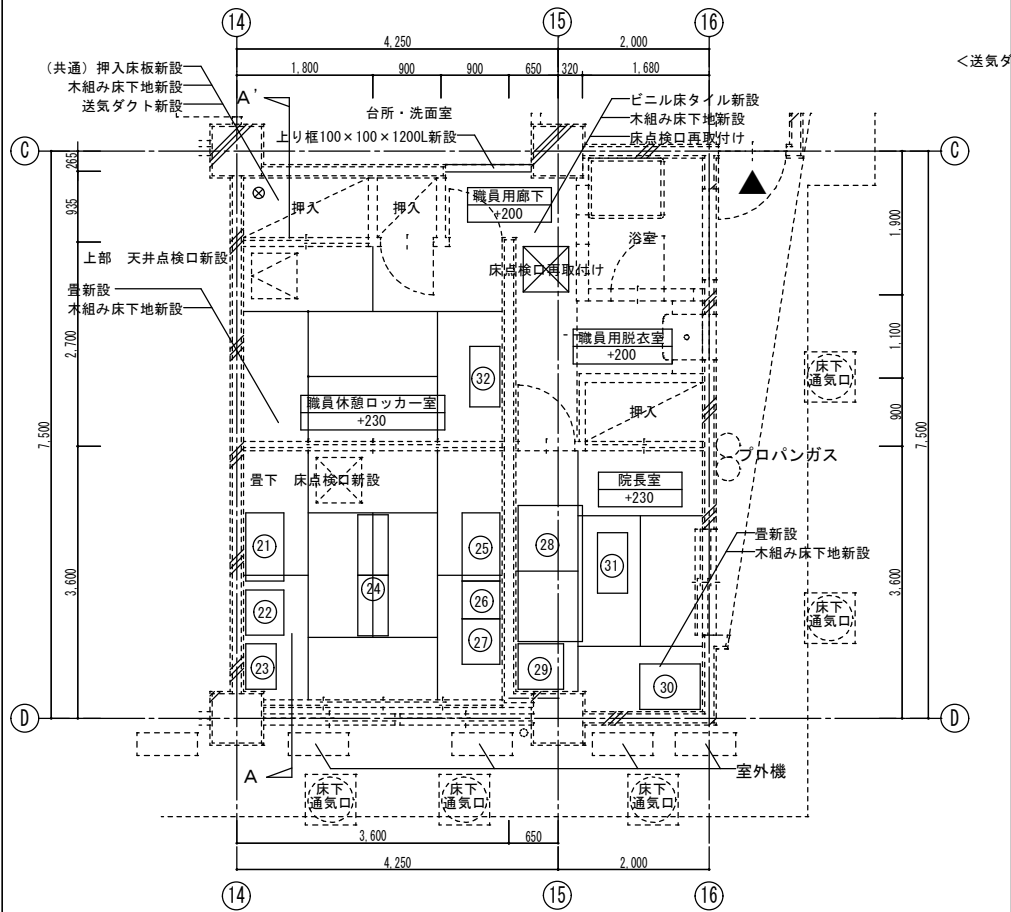


記号・数量	 × 既存6 → 撤去1、既存のまま5
形状	
場所	外部(職員休憩ロッカー室、院長室)
形式	アルミバネル3.0t
見込	—
材質・仕上	アルミ・シルバー
子	—
金物	—
備	既存躯体へビス固定のうえ、四方シーリング

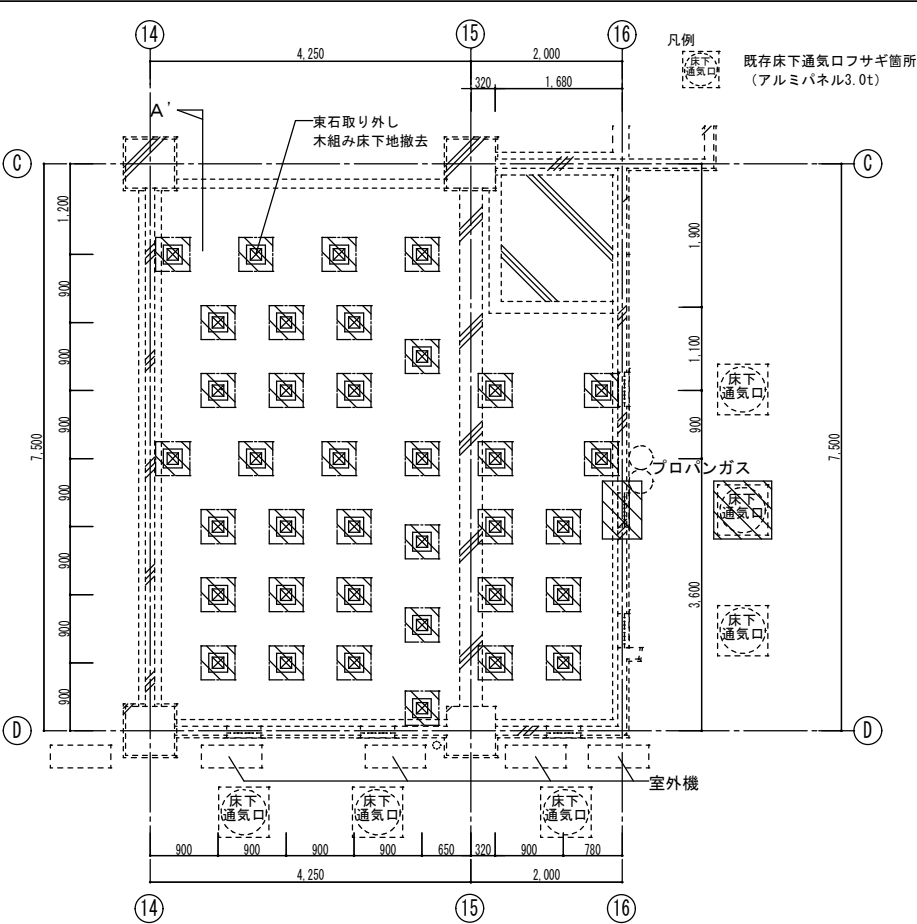
		 株式会社 INA 新建築研究所	石 巻 市 建 設 部 建 築 課	工 事 名	屋内退避施設網小医院結露対策工事			備 考	図面番号 A-10
		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第 22210184 号		図 面 名	立面図〔既存、改修〕	縮尺	A1:S=1/100 A3:S=1/200		
		代表設計者 一級建築士 第 226907 号 高田 秀幸 設計者 一級建築士 第 269066 号 犬戸 幸輔		設計年月日	令和 7 年 3 月				



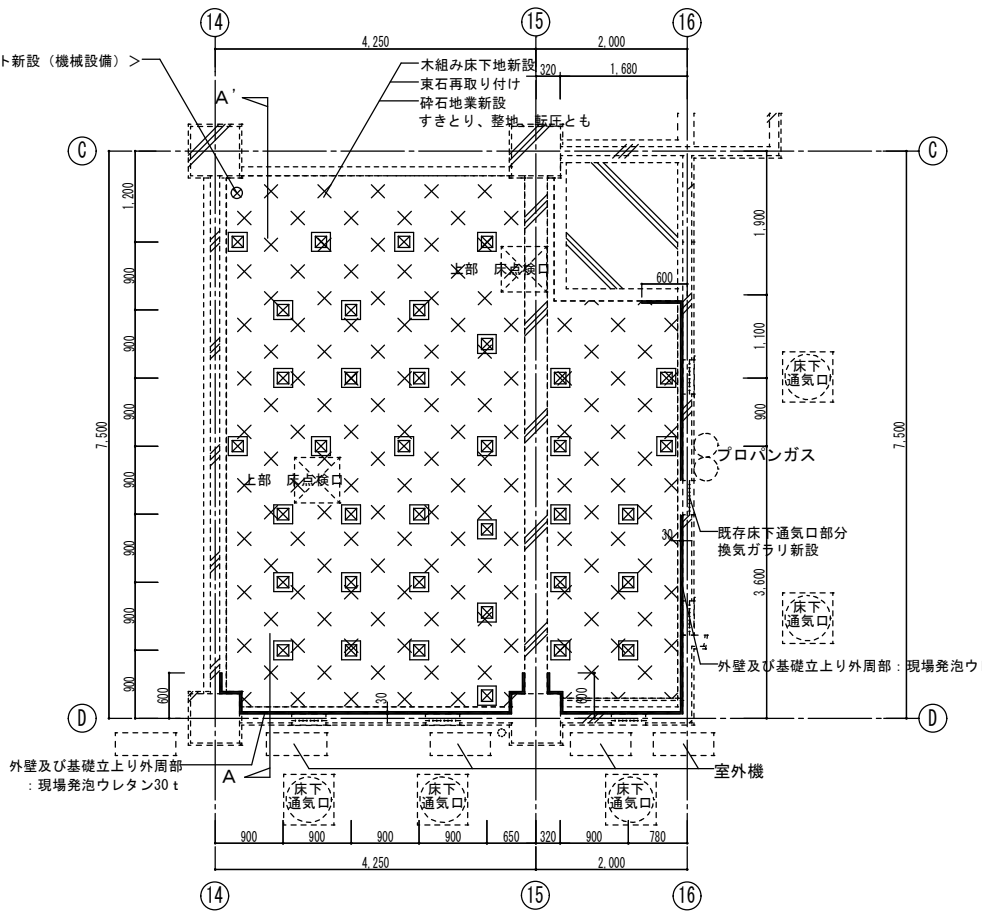
① 1F院長室、職員休憩ロッカー室、職員用廊下平面詳細図（既存）S=1/50



② 1F院長室、職員休憩ロッカー室、職員用廊下平面詳細図（改修）S=1/50

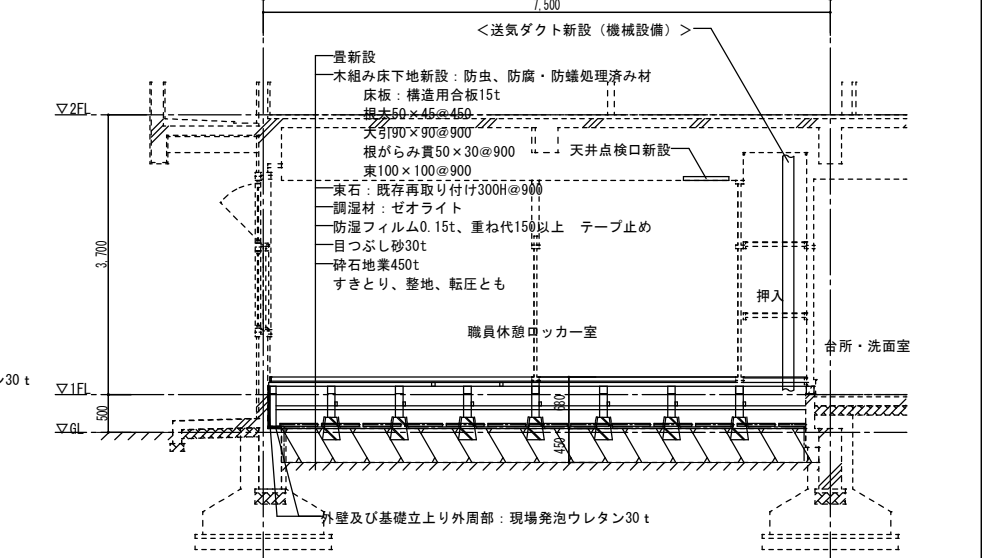
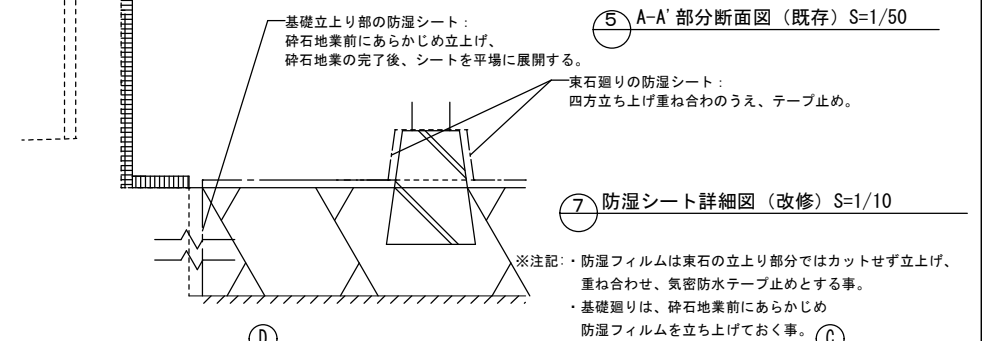
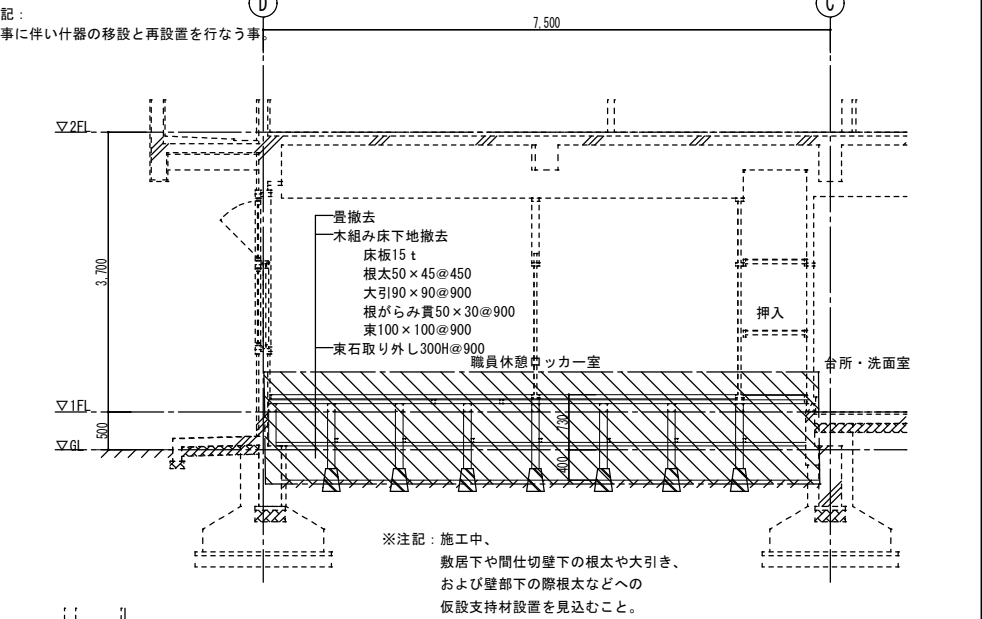


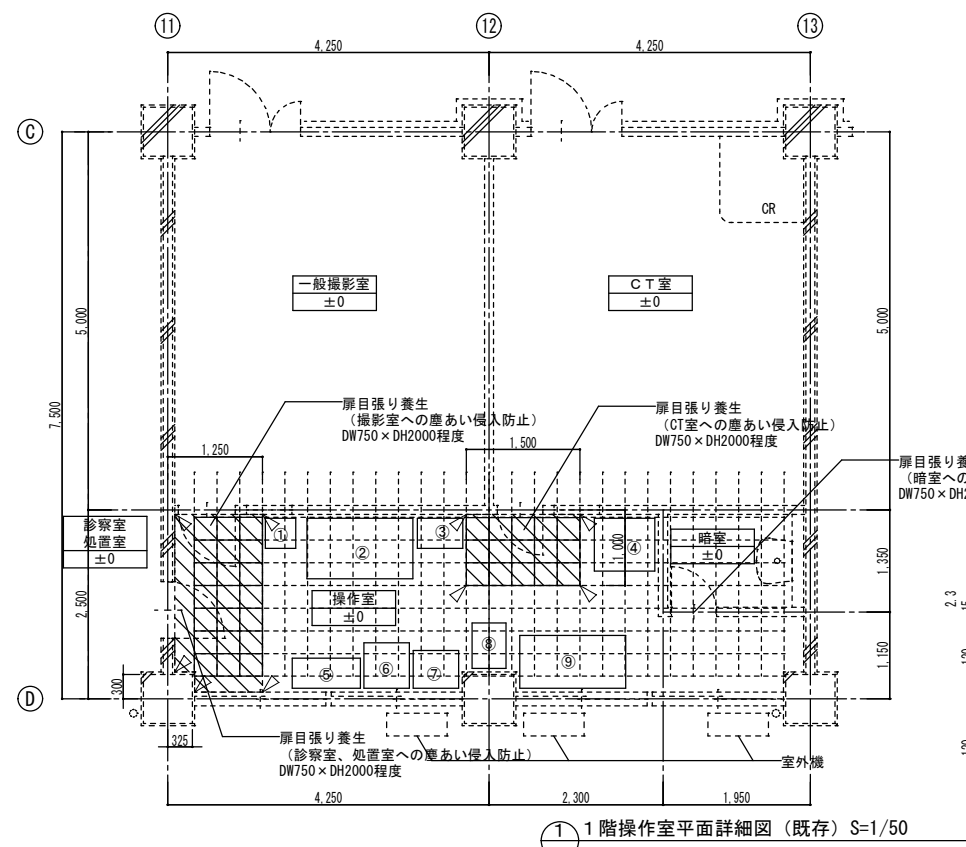
③ 1F院長室、職員休憩ロッカー室、職員用廊下部分土間伏図（既存）S=1/50



④ 1F院長室、職員休憩ロッカー室、職員用廊下部分土間伏図（改修）S=1/50

- 院長室、職員休憩ロッカー室什器一覧
- ①ロッカー：900W×500D×1800H 程度
 - ②TV台、TV：600W×500D×800H 程度
 - ③木製キャブボード：800W×400D×1000H 程度
 - ④テーブル：800W×400D×400H 程度、2台
 - ⑤ロッカー：900W×500D×1800H 程度
 - ⑥ロッカー：500W×500D×1800H 程度
 - ⑦ロッカー：600W×500D×1800H 程度
 - ⑧木製キャビネット：600W×600D×1800H 程度
 - ⑨ソファ：1800W×850D×850H 程度
 - ⑩PCデスク、PC：800W×600D×800H 程度
 - ⑪テーブル：800W×400D×400H 程度
 - ⑫衣装ケース、電子レンジ：800W×400D×400H 程度



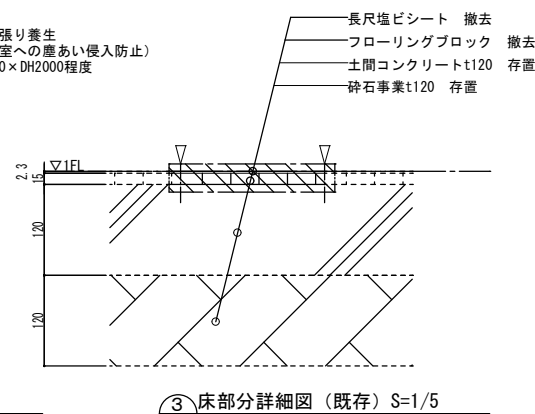


※注記

・点線部は既存長尺塩ビシート下の既存フローリングブロック300×300×t15を示す。
長尺塩ビシートの溶接目地とは異なる場合がある。
・撤去及び張り替え部の寸法は、施工時に再度測定する事。

長尺塩ビシートの溶接目地とは異なる場合がある。

：撤去及び張り替え部の寸法は、施工時に再度測定する事。



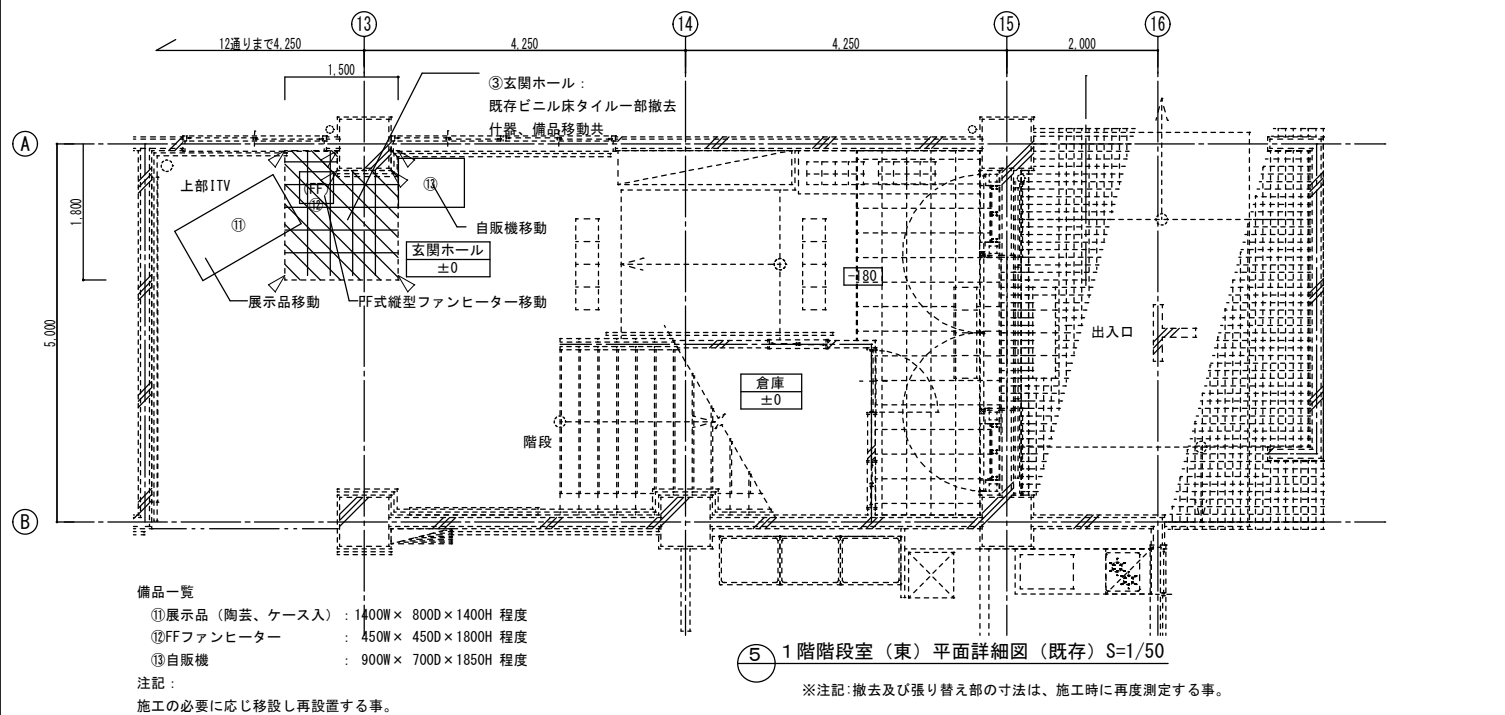
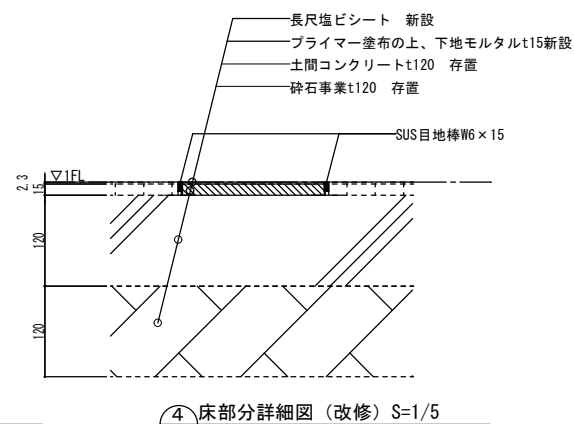
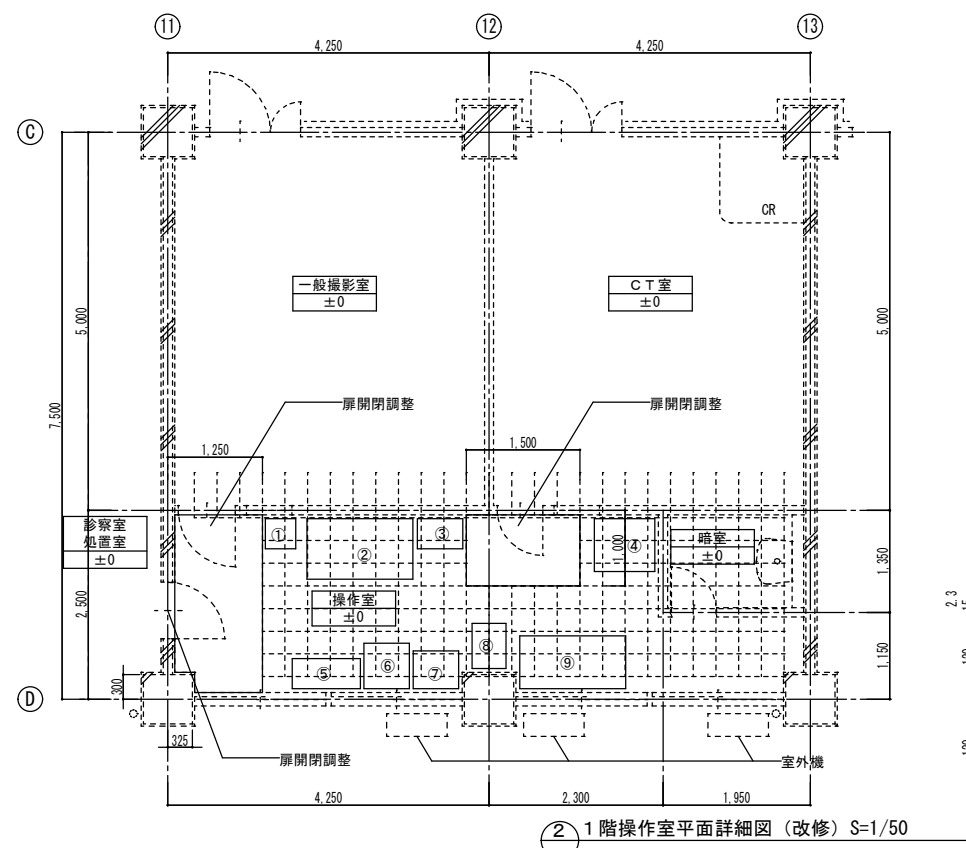
什器一覽

- | | | |
|---------|-----------------|----|
| ①キャビネット | 400W×400D×1200H | 程度 |
| ②操作卓 | 1400W×800D×800H | 程度 |
| ③キャビネット | 600W×400D×1200H | 程度 |
| ④PCデスク | 800W×700D×750H | 程度 |
| ⑤キャビネット | 900W×400D×900H | 程度 |
| ⑥デスク | 600W×600D×700H | 程度 |
| ⑦洗面台 | 600W×500D×800H | 程度 |
| ⑧サイドワゴン | 400W×600D×650H | 程度 |
| ⑨PCデスク | 1400W×700D×750H | 程度 |

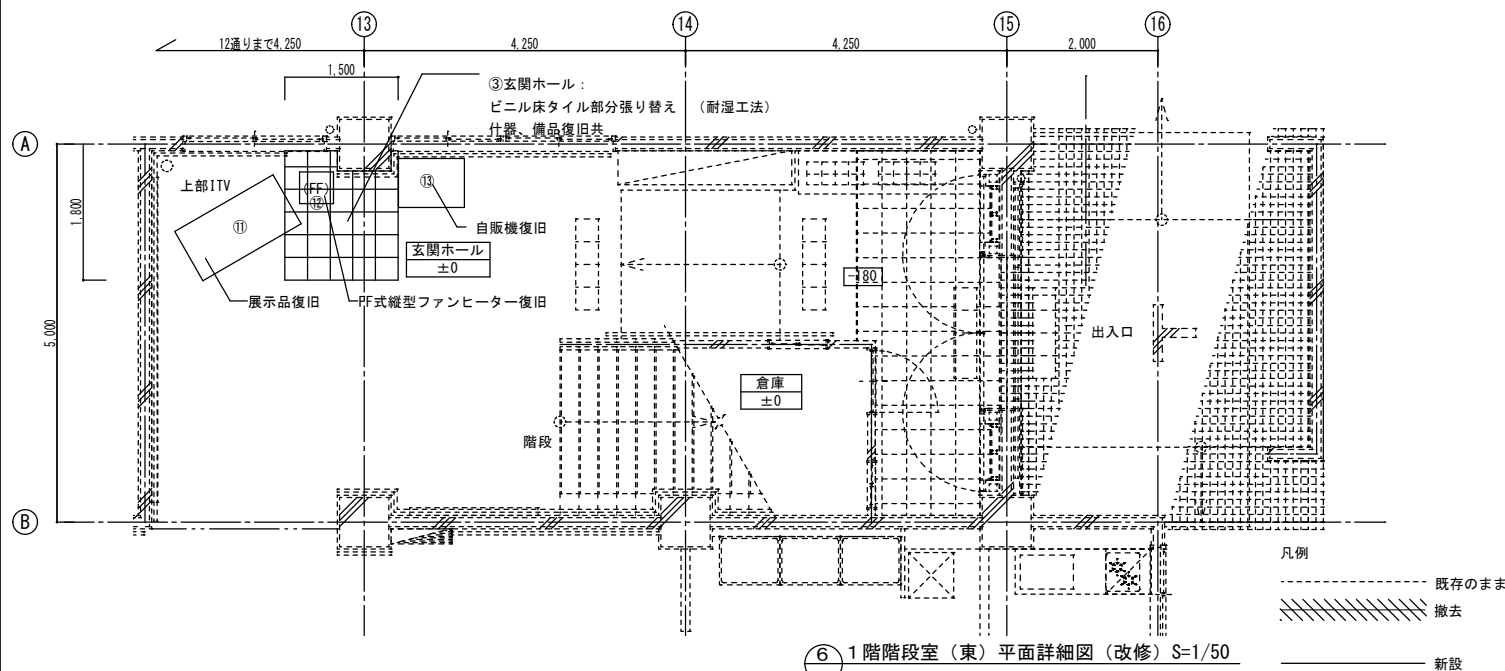
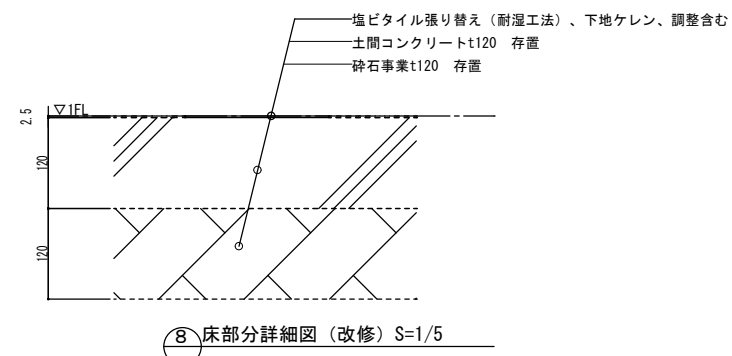
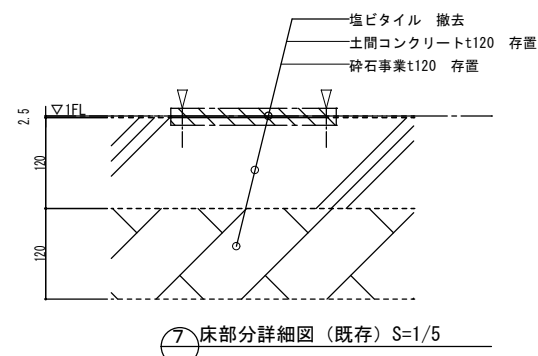
注記：

什器はビニルシートにて養生し、目張り等の塵あい対策を行なう事。
また、施工の必要に応じ移設し再設置する事。

また、施工の必要に応じ移設し再設置する事。



※注記:撤去及び張り替え部の寸法は、施工時に再度測定する事。



凡例

References

----- 既存のまま
\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\

 撤去

▽ 仕上げカッター入れ位置

玄関ホール備品一覧（平面詳細図(2)参照）

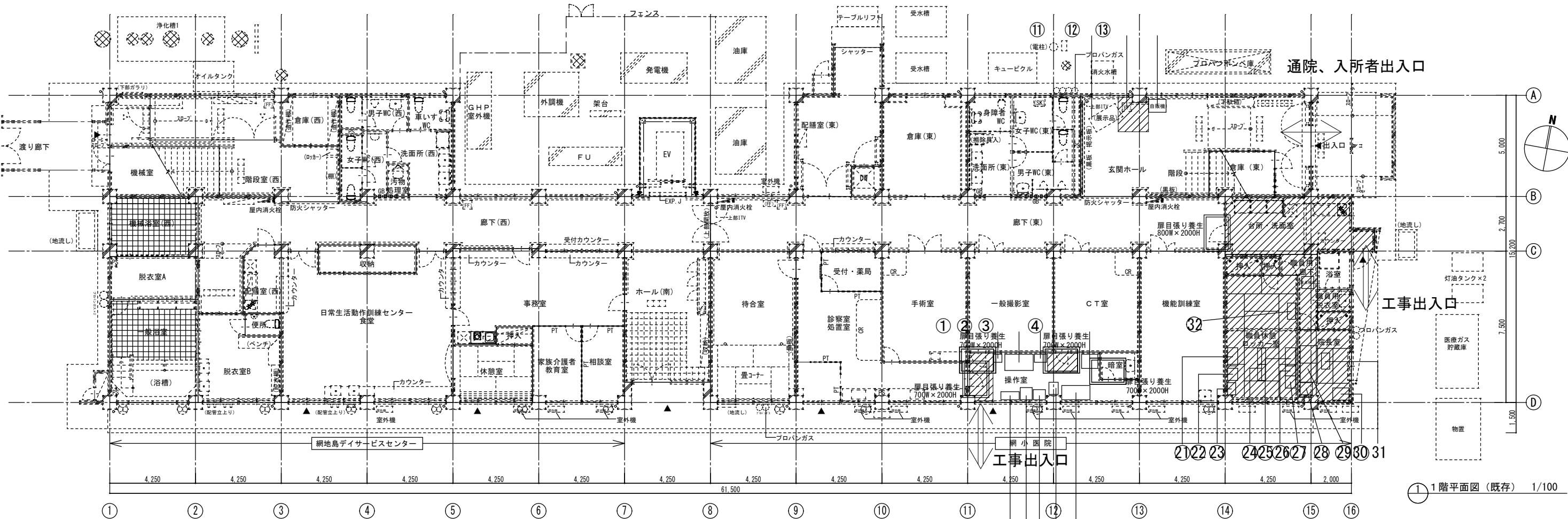
⑪展示品（陶芸、ケース入）：1400W×800D×1400H 程度

⑫FFファンヒーター：450W×450D×1800H 程度

⑬自販機：900W×700D×1850H 程度

注記：

施工の必要に応じ移設し再設置する事。



操作室什器一覧（平面詳細図(2)参照）

- ①キャビネット：400W×400D×1200H 程度
- ②操作卓：1400W×800D×800H 程度
- ③キャビネット：600W×400D×1200H 程度
- ④PCデスク：800W×700D×750H 程度
- ⑤キャビネット：900W×400D×900H 程度
- ⑥デスク：600W×600D×700H 程度
- ⑦洗面台：600W×500D×800H 程度
- ⑧サイドワゴン：400W×600D×650H 程度
- ⑨PCデスク：1400W×700D×750H 程度

注記：

什器はビニルシートにて養生し、目張り等の塵あい対策を行なう事。

また、施工の必要に応じ移設し再設置する事。

院長室、職員休憩ロッカー室什器一覧（平面詳細図(1)参照）

- ②1ロッカー：900W×500D×1800H 程度
- ②2TV台、TV：600W×500D×800H 程度
- ②3木製カップボード：800W×400D×1000H 程度
- ②4テーブル：800W×400D×400H 程度、2台
- ②5ロッカー：900W×500D×1800H 程度
- ②6ロッカー：500W×500D×1800H 程度
- ②7ロッカー：600W×500D×1800H 程度
- ②8木製キャビネット：600W×600D×1800H 程度
- ②9ソファ：1800W×850D×850H 程度
- ③0PCデスク、PC：800W×600D×800H 程度
- ③1テーブル：800W×400D×400H 程度
- ③2衣装ケース、電子レンジ：800W×400D×400H 程度

注記：

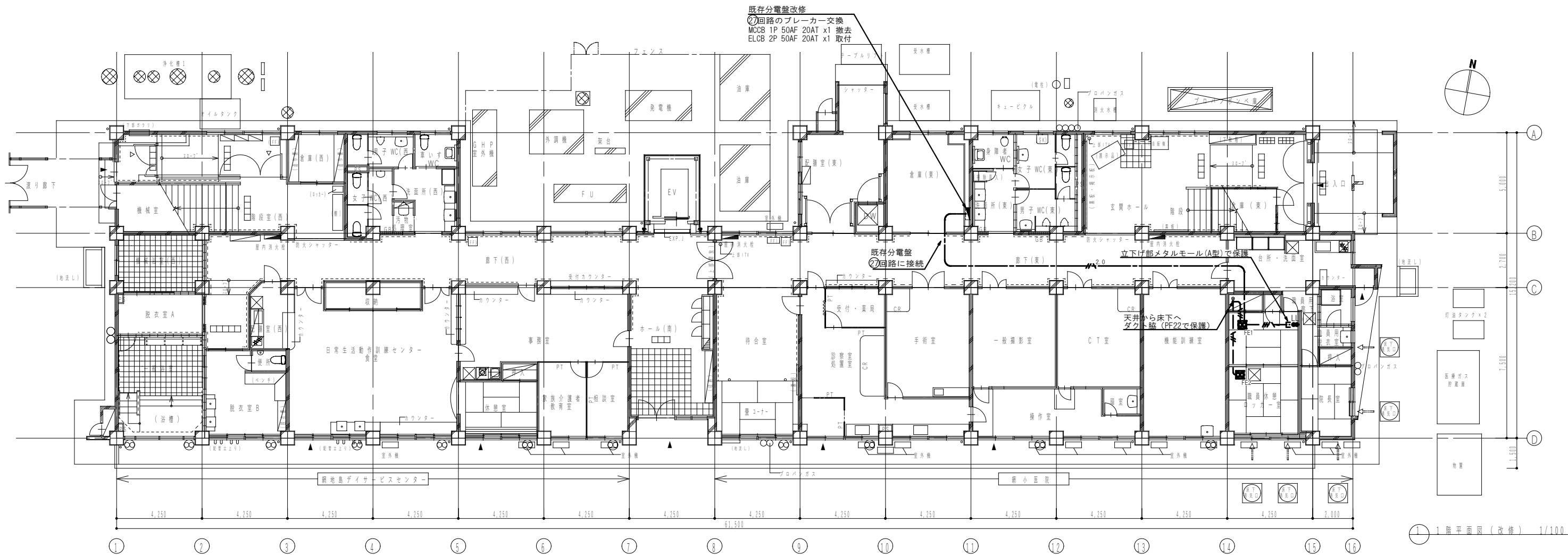
工事に伴い什器の移設と再設置を行なう事。

仮設什器一例	
養生A	床：ビニルシート養生 壁：ビニルフィルム養生 ※什器・備品は個別に養生
養生B	扉目張り養生 DH=2,000程度 ※しきい侵入防止

注記：

・原則、執務並行改修工事とする。

・医院や通院、入所者等の施設利用者への安全等に十分配慮する。



凡例	
シンボル	シンボル名
●	片切スイッチ 1P15Ax1 (表示灯付)
■	分電盤
■	換気扇 (機械設備工事)
EM-EEF1. 6-3C (PF22)	
EM-EEF1. 6-2Cx2 (PF22)	
EM-EEF2. 0-3C (PF22)	
天井転がし	
床隠ぺい	

		INA 株式会社 I N A 新建築研究所	石 巻 市 建 設 部 建 築 課	工 事 名		屋内退避施設網小医院結露対策工事		備考		図面番号	
		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第 22210184 号		図 面 名	電灯設備 1階平面図〔改修〕	縮尺	S=1/100(A1)				E-02
		代表設計者 一級建築士 第 226907 号 高田 秀幸		設計年月日	令和 7 年 3 月						

[illegible][illegible]

	(5) 鋼管管、空気抜き管、配湯タンクよりパイプ等への給水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (白) (6) 空調用排水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (白) (7) 冷媒管 ※ 断熱材被覆鋼管 ※ 鋼管
11. 弁類	※ JIS又はJISV K ※ JIS又はJISV K ステンレス鋼管に取り付けず弁類は、ステンレス製とする。
12. 鋼管用伸縮管継ぎ	※ ベロ型 ※ スリーブ型
13. 温度計	※ 標準仕様書、標準図による他、図示した箇所に取り付ける。(配管用はJ形、ダクト用は円形) 空気調和機、温水暖房暖めりの給排水ダクト、送気ダクト及び外気ダクト ※ 温水用ヘッダー (注) 及び冷水用ヘッダーの各りきり ※ フラウジ形空気調和機の冷水用ダクト及び温水の出入口
14. 漏洩流量計	※ 取付可能寸法 (全数・図示による) 取付可能寸法 (注) の各部寸法 (40A用 個・100A用 個・250A用 個) を参照する。 ※ 測定形 (止水コック付) ・測定用タッピング (3.2mmビーズ管流量計用)
15. オイルタンク	(1) オイルタンク本体は図示による。 (2) 漏洩流量計指示計 ※ 取付けない (3) 計量尺は、青銅製、黄銅製又はアルミ製とし、100リットル測定目盛刻印とする。計量口は図示とする。
16. 積算油量計	図示の箇所に取り付ける (熱源側とする)。
17. 注油口及び指示バルブ	標準図 (機材 6) による。 ※ 車庫用 ・ 共用用 (ローリーケース付)
18. 消音内貼り	(1) 施工箇所は図示による。 (2) 内貼りチャレンパー様の寸法表示は、外形寸法とする。 (3) 取出口に接続するチャレンパーの消音内貼りは別図による。
19. 保 温	(1) 配管内の空気抜き等の保温は空気抜き弁までとし (空気抜き弁も含む)、仕様が冷水水管の項による。 (2) 燃気配管の保温は、給水設備の項による。 (3) 外気取入れダクト及びチャレンパーボックスの保温 ※ 金 (金熱交換機の給気ダクトを含む) ・ 不要 (4) 排気ダクトの外壁断熱係数より1mm程度保温する。(チャレンパーボックスを含む) (5) 冷媒管 (断熱材被覆鋼管) の保温仕様 屋外 断熱材被覆鋼管 (樹脂製) ・ 外装なし 屋内 断熱材被覆鋼管 (樹脂製) ・ 外装なし (6) 高圧高気管及びヘッダーの保温厚は mmとする。
20. 電気工事の範囲	(1) 地震感知器の配管配線 ※ 別途 ・ 本工事 (2) 防犯カメラ及び運動検知器の配管配線及び運動検知器から地震感知器との配線配管は ※ 別途 ・ 本工事
21. 塗装	(1) 屋内外露出排水ダクトの塗装 (屋蓋を除く) ※ 行わない ・ 行う (2) 屋内外露出排水配管の塗装 (屋蓋を除く) ※ 行わない ・ 行う
① 準拠事項	[空気調和 ・ 冷房 ・ 暖房設備] の当該事項に準ずる。 ② 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 18 ③ 19 ・ 21 ※ 別途 ・ 本工事 既設
2. 開放形湯沸湯器排水フット	※ 亜鉛鉄板 ・ ステンレス鋼板 (SUS304) (板厚は最大ダクトによる)
3. 厨房用排気ダクト	※ フランジフランジ工法 ・ コーナーボルト工法 (両フランジ又はスライドオンフランジ)
4. 厨房用排気ダクト工法	(1) フード周囲の天井裏 (フード直下又は天井裏まで) ※ 取り付けない ・ 取り付けない (2) フードコック ※ 取り付けない ・ 取り付けない (3) 材質 (天幕とも) ※ ステンレス鋼板 (SUS430又はSUS304)
5. 厨房用排気フード	(1) フード周囲の天井裏 (フード直下又は天井裏まで) ※ 取り付けない ・ 取り付けない (2) フードコック ※ 取り付けない ・ 取り付けない (3) 材質 (天幕とも) ※ ステンレス鋼板 (SUS430又はSUS304)
6. 多温室用の排気バルブ	次の系統のダクトのシールは、標準図 (施工 4.5.4.6) のNシール+Aシール+Bシールとし、水抜き管を設ける。 ()
1. ダクト	※ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製 (1.6mm以上)
2. 排煙口の形式	※ 可動型 (プルダウン式) ・ 可動型 (プルダウン式)
3. 排煙口開放装置	※ ワイヤード ・ 電気式 (遠隔操作機能) ・ 要 ・ 不要
4. 排煙流量測定方式	建築設備指定検査業務指図書 (計) 日本建築設備・昇降機センターの検査標準書の検査方式に準ずる。
1. 中央監視機能	中央監視制御装置の構成機能は別図による。
2. 計装工事の配線	(1) 屋外・屋内外露出の配管は、鋼板に特設のいりぬり金属管配線とする。 (2) 天井内隠ぺいの配管は、図示に特記がなければケーブル配線とする。
1. 大規模洗浄弁	※ 洗浄方式 ・ 洗浄弁方式 (不排水型水付)
2. 便器洗浄用タンク	※ 手洗い ・ 手洗い
3. 小便器自動洗浄	個別感知方式とする。(・ 小便器一体型 ・ 小便器分離型)
4. 器具付排水栓	固定式 (節水式) とする。
5. 自動水栓	※ 電源供給方式 (※ AC100V) ・ 乾電池 ・ 自己給電
6. 温水洗浄便座加熱方式	※ 断熱式
7. 大便器耐火カバー	図示の (ビッド内を除く)
1. 量水器	(1) 観メーター ※ 指用 ・ 買取り (鋼製メーター ・ 有 ・ 無) (2) 子メーター ※ 買取り (鋼製メーター ・ 有 ・ 無)
2. 配管図	(1) 観メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図 (機材 5.7) (2) 子メーター用 ※ 標準図 (機材 5.7) ・ 水道事業者の指定品
3. 配管材料	(1) 一般用 ※ ステンレス鋼管 (SUS304) ・ ステンレス鋼管 (SUS316) ※ ポリ塩化ビニル管 (PVC) ・ ポリ塩化ビニル管 (VDF) ※ ポリカーボネート管 (P-C) ・ ポリカーボネート管 (P-C) ※ ポリカーボネート管 (P-C) ・ ポリカーボネート管 (P-C) (2) 土留配管用 (廊下、浴室等のシンク内含む) ※ ステンレス鋼管 (SUS316) ・ ステンレス鋼管 (SUS316) ※ 塩化ビニル管 (VDF) ・ 塩化ビニル管 (VDF) ※ ポリカーボネート管 (P-C) ・ ポリカーボネート管 (P-C)
4. 不凍水栓柱	化粧ケーシング (・ アルミ合金製 ・ 合成樹脂製)
弁 類	(1) 水道接続部分 ※ JIS又はJIS V K ・ 水道事業者の規定による K (2) その他の部分 ※ JIS又はJIS V K ・ JIS又はJIS V K ステンレス鋼管に取り付けず弁類は、ステンレス製とする。
給水栓	(1) 屋内 (・ 一般給水栓 ・ 耐寒水栓) (2) 屋外 (・ 耐寒水栓 ・ 一般給水栓) 満室室、台所、厨房用水栓は流注式とする。耐寒水栓はJWWAの指定品とする。
7. 埋設深さ	(1) 一般敷地内 (m以上) (2) 敷地内専用道路 (m以上)
8. 保 温	(1) 量水器側の保温を行う。 (2) 屋内外露出配管 (弁フランジを含む) は、標準仕様書第2巻 (表 2.3.6.2. (ハ)) とし 厚さは呼び径 25mm以下は 50mm、呼び径 25mm以上は 40mmとする。
9. 埋設井閉閉用ハンドル	本事に ※ 含む (水道事業者管理用以外の井閉閉用) ・ 含まない
10. 水追加入金等	水追加入金 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途) ・ 不要 ※ その他 ()
11. ステンレス管の接合方法	(1) 呼び径 60mm以下 S A S 3 2 2 (一般配管用ステンレス鋼管の管轄手配基準) を満足した継手による接合 (2) 呼び径 75mm以上 溶接接合 ハンダリング形管継手による接合 ・ フランジ接合
12. その他	給水管の最小口径は 20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。
1. 配管材料	(1) 屋内外給水管 (2) 屋内外排水管 (3) 屋内外汚水、雑排水管 ※ 排水用塩化ビニル管鋼管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) ※ 鋼管 ・ 排水用塩化ビニル管鋼管 (白) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V U) ※ 排水用塩化ビニル管鋼管 (白) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V U) (R E P - E U)
(4) 土留配管用 (5) 土留配管用 (6) ポリプロピレン排水管 ※ 排水用塩化ビニル管鋼管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ ポリカーボネート管 (P D) ※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V U)	
台所流し等の床上露出部分の排水管は、硬質ポリ塩化ビニル管でもよい。	

排水樹	・ 排水口は図面番号 () (1)材料 ・ RC ・ 硬質塩化ビニル ・ ポリプロピレン ・ SC (2)ふた ・ 鉄板製 (・ MHA ・ MHB ・ TSA) ・ 樹脂製 ※ 異素材・流体力入りおよび樹脂製ふたは原則としてSUSチェーン付
3. グリーン阻集器	(3)規格 ・ 下水道協会 (JSWAS) ・ プラスチック・マスマンホール協会 (PMMS) ・ 市町村が規定 (・ 有 ・ 無)
4. 漏水試験継手	・ FRP製 (L) ・ SUS製 (L) 詳細は図示。 図示の箇所に取り付け。漏水試験を行うこと。 ・ 衛生器具などの取付完了後。排水試験及び漏水試験を行う。 ・ 衛生器具などの取付完了後。燃焼試験を行う。
5. 放流負担金等	・ 不要 ・ 要 (・ 別途工事 ・ 本工事)
7. 基礎材	※ 再生クラッシャーラン
1. 配管材料	・ ステンレス鋼管 (SUS304) ・ 耐熱性ラニウム鋼管 ・ 鋼管 ・ 被覆鋼管 ・ 配管用炭素鋼管 (由) ・ 外道被覆鋼管 (SGP-VS) ・ 圧力配管用炭素鋼管 (Sch40) ・ ポリエチレン被覆鋼管 (SGP-PS) ・ 保溫付被覆鋼管 ・ 外道被覆鋼管 (SGP-370VS) ・ ポリエチレン被覆鋼管 (STPG-370PS) ＜鋼管及び補給タンクよりポリラー等への補給水配管をきむ。＞
2. 弁 類	絶水設備の取付等による。
3. 通流部の排気筒	厚さ0.5mm以上のステンレス鋼板製とする。
4. 保 温	通流部の給排水系 (二重管) のいへい部保温を行う。標準仕様書表第2-1、表2-3、5の (h) ・ (i) ・ (X)
5. ステンレス管の接合方法	(1)呼び径60SUS以下 SAS322 (一般配管用ステンレス鋼管の管轄手性能基準) を満たした継手による接合 (2)呼び径75SUS以上 ・ 溶接接合 ・ ハウジング製管継手による接合 ・ フランジ接合
配管材料	(1)一般 ・ 配管用炭素鋼管 (由) ・ 圧力配管用炭素鋼管 (Sch40) (2)地中埋設部 ・ 外道被覆鋼管 (SGP-VS) ・ ポリエチレン被覆鋼管 (SGP-PS) ・ 外道被覆鋼管 (SGP-370VS) ・ ポリエチレン被覆鋼管 (STPG-370PS) (3)二酸化炭素埋設部 ・ 圧力配管用炭素鋼管 (継目無管) (Sch80)
2. 屋内消火栓種類	・ 操作性1号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 広範囲型2号消火栓
3. 消火栓開閉弁	・ JIS10K ・ JIS20K
4. 保 温	(1)屋外露出管については給水用に準ずる。 (2)配水タンクの保温 (3)消火配管の保温 屋内消火栓 スプリングラッパ ・ 施工しない ・ 施す ・ 施工しない ・ 施工する
5. 消火器類	(1)消火器 種類 ・ 数量 (2)消火器収納箱 仕様 ・ 材質 ・ 数量
1. 耐震機器類	(1)図示による (材質などは標準仕様書)による。ただし、寸法は参考とする。 (2)耐震機器取付位置は、標準施工7.4による。
配管材料	(1)一般 ・ 配管用炭素鋼管 (由) ・ ガス事業者の規定による (2)地中埋設部 ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス事業者の規定による ・ ガス用ポリエチレン管
2. 都市ガス	(1)ガスメーター 観メーターはガス事業者の設置。子メーターは本工事とする。 (2)引込み負担金 ・ 不要 ・ 要 (・ 別途工事 ・ 本工事)
3. 液化石油ガス	(1)ガスボンベ ※ 取用 買い取り (・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本) (2)ガスメーター 観メーターはガス事業者の設置。子メーターは本工事とする。 (3)集合設置 ・ 標準図 (施工7.2)による (本指) (4)転倒防止等 ・ 標準図 (施工7.2) [・ (a) ・ (b)] ・ ポルト、チェーン等はSUS製とする。 ・ 容積固定器具をGL+30.0Cに設置する。
4. ガス漏れ警報器	図示の場所に取付ける (・ 分離型 ・ 一体型) 別途電気工事 外部出力端子 (・ あり ・ なし)
5. 埋設深さ	(1)一般敷地内 (m以上) (2)敷地内車庫道路 (m以上) (3)公道 (ガス供給事業者及び道路管理権限による)
6. その他	配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任仕とする。 供給事業者名 ()
方式・用途	方式 (・ ロープ式 ・ 油圧式) 用途 (・ 一般取用 ・ 車いす用 ・ 荷物用)
2. 積載量 (kg) 定員	積載量 (kg) 定員 (人)
3. 速度 (m/分) 停止箇所	速度 (m/分) 停止箇所 (箇所停止)
4. 管制運転	・ 地震 ・ 火災 ・ 停電 ・ 冠水 ・ 自家発
5. 工場検査予定	※ あり ・ なし
6. 無償保守期間	※ あり (ヶ月) ※ なし
施工計画書	(1)施工計画書は、産業廃棄物処理計画を記載するとともに、解体施工前に事前調査を行い、その結果を「指定様式2-1」建設副産物処理表 (施工前調査表) としてあらかじめ監督職員に提出すること (2)解体調査については、有害物質等の含有又は含有の可能性がある物件について改めて調査を行い、その結果を「指定様式2-2」建設副産物処理表 (解体調査表) として監督職員に提出すること (3)上記2より新たな有害物質等の含有又は含有の可能性がある物件がある除去品を確認した場合に、速やかに監督職員と協議するとともに、産業廃棄物処理計画の変更を行い、監督職員に報告の上で知照、処分すること (4)除去品の取扱いについては、関係法令等に従い適切な処理、処分を行うこととする。その結果を「指定様式2-3」建設副産物処理表 (最終) として監督職員に提出すること

表1 工事完成検査における完成検査一覧 (建築物用) (石巻市ホームページ参照) 及び下表により作成する。

名 称	完 成 検 査 類	数 量
1. 竣工図書		
① 白図製本 (青表紙黒文字)	原簿二つ折リ	1部
② 白図製本 (黒表紙黒文字)	A3短冊小4折リ	3部
③ 電子データ	JWW又はDW形式のCADデータ及びPDF形式	2枚 CD、00-0
2. 工事写真		
電子データ	PDF形式	2部 CD、00-0 1枚

※項目ごとにA4版フラットファイルでの提出を基準とし、分冊になる場合はA4版チューブファイルでの提出とする。
※成果品ボックスについては監督職員の指示によるものとする。

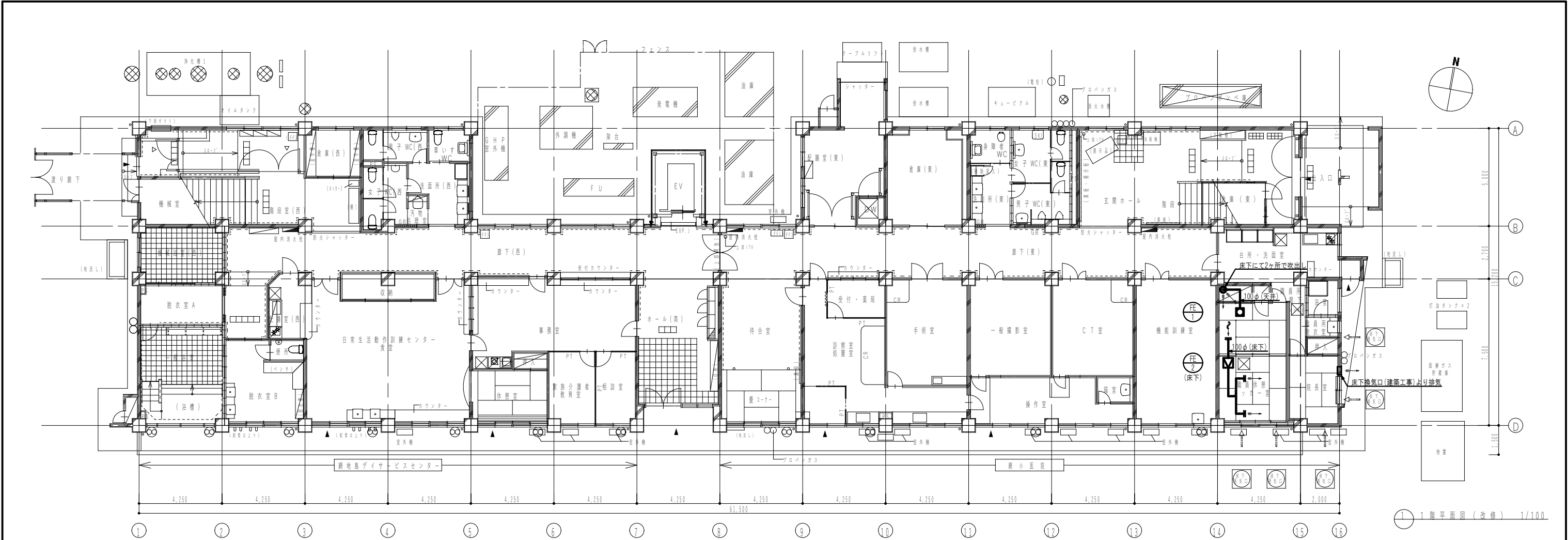
注記：機器参考図について
本図面中で、機器の品質・グレードを規定する目的で機器の形状図や図元を参考図として記載している。
これらのものについては、その品質・性能が図面と同等もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

表1 工事完成検査における完成書類一覧(営繕工事)(石巻市ホームページ参照)及び下表により作成する。

名 称	完 成 書 規	部数
1. 竣工図		
① 白図本(青表紙黒文字)	原稿二つ折り	1部
② 白図紙(黒表紙黒文字)	A3原稿小4折り	3部
③ 電子データ	JMW又はDXF形式のCADデータ及び PDF形式	1部 C.D./DWD 2枚
2. 工事写真		
電子データ	PDF形式	1部 C.D./DWD 1枚

※項目ごとにA4版フラットファイルでの提出を基準とし、分冊になる場合はA4版チューブファイルでの提出とする。
※成集品ボックスについては監督員の指示によるものとする。

注記：機器参考図について
 本図面中で、機器の品質・グレードを規定する目的で機器の寸法形状や諸元を参考図として記載している。
 これらのものについては、その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。



換気機器表

記 号	機 器 名 称	仕 様	電 源			台数	設 置 場 所	備 考
			φ	V	kW			
FE-1	排風機	型 式 天井扇 (低騒音型/インテリア格子タイプ)	1	100	20W	1	1F 職員休憩ロッカー室	スイッチ類(電気設備工事)
		能 力 100 φ × 160 m3/h × 50 Pa						
		付 属 品 天吊金具、他標準付属品一式						
FE-2	送風機	型 式 中間取付形ダクトファン (1部屋用/高静圧)	1	100	15W	1	1F 職員休憩ロッカー室	スイッチ類(電気設備工事)
		能 力 100 φ × 90 m3/h × 20 Pa						
		付 属 品 天吊金具、他標準付属品一式						

